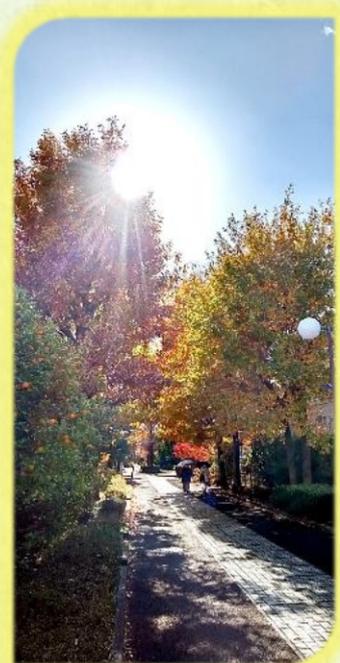


30th

1992-2022

【記念誌】



緑園地区社協

# 30年のあゆみ



緑園地区社会福祉協議会  
30周年記念誌編纂委員会

# 目 次

---

1. はじめに	P- 1
2. ごあいさつ	P- 2
3. 社会福祉協議会とは	
3-1. 社会福祉協議会とは	P- 5
3-2. 地区社協と社会福祉法の関係	P- 6
3-3. 社協組織と地区社協の構成	P- 7
4. 緑園地区社会福祉と地区の歩み	P- 8
5. 緑園地区社協30周年事業	P-14
6. 地域福祉保健計画	
6-1. 地域福祉保健計画の地区別計画	P-15
6-2. 第1期福祉保健計画（平成17年度～平成21年度）	P-17
6-3. 第2期福祉保健計画（平成22年度～平成27年度）	P-19
6-4. 第3期福祉保健計画（平成28年度～令和02年度）	P-21
6-5. 第4期福祉保健計画（令和03年度～令和07年度）	P-23
7. 緑園地区社協の主な行事および写真集	
7-1. 緑園地区社協主催の事業・行事	P-25
7-2. 各種団体の主な事業・行事	P-26
7-3. 緑園地区「自治会単位居場所作り」の推進	P-27
7-4. エンジョイライフ・メッセ2008	P-29
7-5. 緑園ふれ愛メッセ2009・2010	P-30
7-6. 緑園地域活動ガイドブック	P-31
7-7. 地区社協主催各種行事写真集	P-33
8. 各種団体のいちおし活動紹介	P-35
9. 役員・理事・評議員名簿	
9-1. 平成07年度～平成15年度	P-40
9-2. 平成18年度～平成24年度	P-41
9-3. 平成25年度～平成29年度	P-42
9-4. 平成30年度～令和04年度	P-43
10. 緑園地区社協の運営	
10-1. 地区社協の組織と会議	P-44
10-2. 地区社協の財源と運営費	P-45
10-3. 地区社協の活動記録と文書の保存	P-46
10-4. 地区社協の会計科目	P-48
10-5. 地区社協の予算	P-49
10-6. 支払伝票と支払証明書及び金銭出納簿	P-50
10-7. 連合自治会の補助金手続き	P-51
10-8. 地区社協の会則	P-52
10-9. 募金活動（共同募金・賛助会費）	P-54
10-10. 広報活動	P-55
11. 表彰の記録	P-56
12. 緑園地区福祉施設紹介	P-58
13. 緑園地区の人口予測・年齢構成	P-61
14. 編集後記	P-62

# はじめに

---

このたび、緑園地区社会福祉協議会の「緑園地区社協30年のあゆみ」を作成する事となりました。

横浜市の地区社協が誕生したのは今から70年前の昭和27年です。令和4年現在、横浜では18の区社協と256の地区社協が活動しています。

昭和28年に横浜市社協から発行された「地区社協活動事例」によると、地区社協は「その地域に住む人たちのために、あらゆる社会問題を探り上げて住民の生活環境を精神的にも物質的にも、健康的にも文化的にも豊かなものにしようとする大目的をもつて出発した」とあります。そして平成12年の社会福祉法制定に伴い、市・区社協が「地域福祉を推進するための団体」と明示されたことにより、地区社協は「地域福祉保健活動の中心」としてその力が大きく求められています。今般、第4期福祉保健計画（R3-R7年）の策定に当たり検討会や研修会を重ねてきましたが、「地区社協の活動が住民に伝わっていない、知られていない」とのご意見を頂きました。

緑園地区社協は、令和4年に発足以来30年を迎えました。また地域の街の様子も大きく様変わりしてきています。これを機に原点に立ち返るとともに、今後ますます必要となる「誰もが健康で、安全で、安心して暮らせるまち！」をめざし、活動の基本を纏め将来の指針とすべく本誌の作成に取り組みました。この「あゆみ」により、緑園地区社協の役員や連合自治会ははじめ各種団体の皆様方と情報共有を図り活動の「つながり」を作ることが出来れば幸いです。

緑園地区社協30周年記念誌編纂委員会

作成に当たり、横浜市社会福祉協議会発行の「地区社協のてびき」を参考にしました。

文中の“緑園地区社協”は、“緑園地区社会福祉協議会”の省略形です。



## 緑園地区社協30周年を祝す

泉区社会福祉協議会 会長 貝沼 貞夫

緑園地区社会福祉協議会30周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。そして、これまで皆様が続けてこられた地域福祉の推進に向けた活動へのご尽力に心より敬意を表します。

緑園地区社会福祉協議会は、団結力と行動力に優れ、様々な事業に取り組んでおります。「地域交流」事業として福祉ふれあい祭りやふれあいチャリティフェスティバルなど、「子どもと高齢者」を対象としたキッズフェスティバルや小学生見守り活動・居場所づくりなど、また「健康づくりと予防」事業として高齢者食事会・健康体操など、「支えあいと助け合い」事業として障がい支援活動・施設訪問など、地域の関連団体とともに多種多様な事業に取り組んでおり、関係者皆様の絶えまぬ努力により着実な成果と実績を上げていることに敬意を表します。今後とも、各事業が一層の発展と進化を遂げることを祈念いたします。

泉区社会福祉協議会は、緑園地区をはじめ地域の皆様とともに「互いに支え助け合う！誰もが安心して暮らせるまち泉」をめざして、区役所・区内地域ケアプラザと協働して皆様の取り組みを支援してまいります。

最後になりますが、この節目の輝かしい年が緑園地区社会福祉協議会にとって更なる飛躍の契機となり、ますますのご発展と、会の活動がこれからも地域にしっかりと根差し、更に大きくなっていくことを願うとともに、皆様のご活躍とご健勝を祈念申し上げまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



## 第2期福祉保健計画の思い出

緑園地区社会福祉協議会 前会長 後藤 登美雄

緑園地区社協30周年おめでとうございます。

さて、社会福祉協議会ですが、当時は地域住民の馴染みが乏しく、組織的にもあまり理解されない状態でした。折しも第2期福祉保健計画が推進され、活動内容を役員ともども検討し、イメージアップするためにペーパーとネットを有効活用してPRから始めました。“人・和のあるまち緑園”をスローガンに「子どもから高齢者まで気軽に交流できるまち」「困っているとき、安心して相談できる人・場所のあるまち」を目指して取り組みました。地区社協最大のイベントは先輩から引き継いだ「ふれあいまつり」で、交流の場として現在でも人気の中心となっています。一方“地域をみんなで知ろう”を目的に、地域団体の紹介として“エンジョイライフメッセ”の開催や“地域ガイドブック”の作成を行い、また“多世代居場所作り”の検討にも入りました。

今思うに、これらは優秀な役員のサポートと行政・区社協の支援があったからこそ順調に進められたものであって、今もって感謝しております。

活動の資金面は「賛助会費」と市・区の助成金が主体でしたが、活動が進むにつれ不足に悩まされた時期もありました。「ふれあいフェスティバル」は、地震被災地への寄付金集めとして実施したものでしたが、自主財源の補助としての成果もありました。

第2期の福祉保健計画は、地域の“人・和のあるまち”を強調した5年間でした。



## 緑園地区社協30周年を迎えて

緑園地区社会福祉協議会 会長 菅野 英夫

このたび、緑園地区社会福祉協議会は、令和4年に発足30周年の節目を迎えることとなりました。

この街・緑園地区は、昭和61年（1986年）4月に岡津・新橋・名瀬の各町の一部が分町し戸塚区緑園（1～7丁目）が誕生、翌昭和62年4月には自治会及び緑園都市コミュニティー協会（RCA）が発足し、まちづくりがスタートしました。当時、自治会の会員数は211世帯でしたが、開発の進展に伴い平成3年4月には単位自治会が1丁目から7丁目に分割されるとともに緑園連合自治会がスタート、同年9月には第1回緑園敬老祝賀会も開催されました。その後も発展が続き、令和4年3月現在では、人口13,596人の街となっています。

緑園地区社協は、平成4年4月に中川地区社協から別れ設立されました。当初は連合自治会と一体となり各種活動を展開してきましたが、平成12年に「福祉ふれあい祭り」、平成17年には「ふれあいフェスティバル」を開催し、地区社協の地域交流の場づくりが活発に行われ現在に至っています。

その後、横浜市では平成17年に第1期福祉保健計画が構築され福祉の充実が図られ、令和3年には第4期福祉保健計画がスタートしました。街全体に急速な高齢化が進む中、第4期計画では「つながりの輪を広げ支えあい・助け合うまち緑園」をスローガンに、地域福祉活動の充実を図り、誰もが健康で安全・安心して暮らせるまちをめざして活動してまいります。この度まとめた活動記録は、今後の活動指針に反映するとともに、地区社協構成団体の皆様との情報共有や活動活性化を図るツールとして活用したいと思います。連合自治会や各種団体の皆様との「つながり」を強固にし、協働で取り組んでいきますので、地域皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

# 社会福祉協議会とは

## 1. 社会福祉協議会（社協）とは

社会福祉協議会（しゃかいふくしきょうぎかい）とは、行政関与によって戦前から戦後に設立された地域福祉の推進を図ることを目的とする民間団体で、略して社協とされています。

民間団体ですが、法律「社会福祉法」に定められ、行政区分ごとに組織されています。

「社会福祉法」・・・詳細は次ページの“社会福祉法とは”による・・・

## 2. 地区社会福祉協議会（地区社協）とは

地区社会福祉協議会は、区域内において地域福祉の推進を図ることを目的とする団体で、横浜市に256団体、泉区には、人にやさしい住みやすいまちづくりをめざした活動をしていくために、12の地区社会福祉協議会が設けられています。

### ①地区社協の構成

地区社協は広く地域住民や福祉団体、社会福祉施設、民生委員、当事者組織などが加入し、ネットワーク組織として活動しています。

・・・詳細は次ページの“地区社協の構成”による・・・

### ②地区社協の成り立ち

横浜市で地区社協が誕生したのは戦後間もない昭和27年の事です。翌28年に発行された「地区社協活動事例」によると、地区社協は「その地域に住む人のために（略）あらゆる社会問題を取り上げて、住民の生活環境を精神的にも物理的にも健康的に、文化的に豊かになるものにしようという大目的をもって出発した」とあります。

また「赤い羽根共同募金」を地域で有効に活用するための団体として、様々な福祉の啓発活動や在宅福祉活動などに取り組んできました。

更に、平成12年の社会福祉法の改正に伴い、市・区社協が「地域福祉を推進する団体」と明示されたことにより、地区社協は、地域福祉保健活動の中心として、その力が大きく求められています。

### ③地区社協の目的

生活課題が多様化し制度や施策だけでは解決できない課題が多くある中、住民同士の助け合いである地域福祉保健活動に多くの期待が寄せられており、地域福祉時代の到来ともいえます。只、時代は変化しても地域福祉の理念は「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなで作ります」ことです。

「誰もが安心して暮らせる地域」は地区社協が目指している

「一人ひとりの困りごとを解決できる地域」と重なります。

目的を達成するために

「ネットワーク組織である特徴を生かして困りごとを見つけ話し合い」

「活動をとおして解決していく」ことを、横浜の地区社協が目指す形としています。

注) 参考資料：横浜市社会福祉協議会「地区社協の手引き」、緑園地区社協「ホームページ」

# 地区社協と社会福祉法の関係

## 1. 社会福祉法とは（『日本大百科全書』より）

1951年（S26）制定の社会福祉事業法を改正、名称変更して2000年（H12）5月に公布、施行された法律。福祉サービスの利用者の利益の保護、地域における社会福祉の推進を図るとともに、社会福祉事業の公明適正な実施の確保、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図り、もって社会福祉の増進に資することを目的とする。社会福祉事業の範囲を定め、福祉サービスの基本的理念を「個人の尊厳の保持を目的とし能力に応じた自立的日常生活を支援するもの」としてとらえ、地域福祉推進を図り社会福祉事業者は利用者の意向を十分に尊重すること、国および地方公共団体が福祉サービスを提供する体制確保を図ることなどを定めている。

利用者本位の社会福祉制度の実現に向けた改正であるとされており、「措置から利用へ」「利用者の利益を保護する仕組み」「社会福祉事業の追加、拡充による福祉サービスの活性化」「地域福祉の推進」などがうたわれている。

- ◆平成12年に改正された「社会福祉法」で、地域福祉を推進する事項を定める計画として、市町村地域福祉計画が位置づけられた。

### 社会福祉法第4条：地域福祉の推進より

地域住民、社会福祉を目的とする事業を営む者及び社会福祉に関する活動を行うものは、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように、地域福祉の推進に努めなければならない。

- ◆平成30年4月に一部改正があり、地域福祉計画の策定が努力義務とされた。

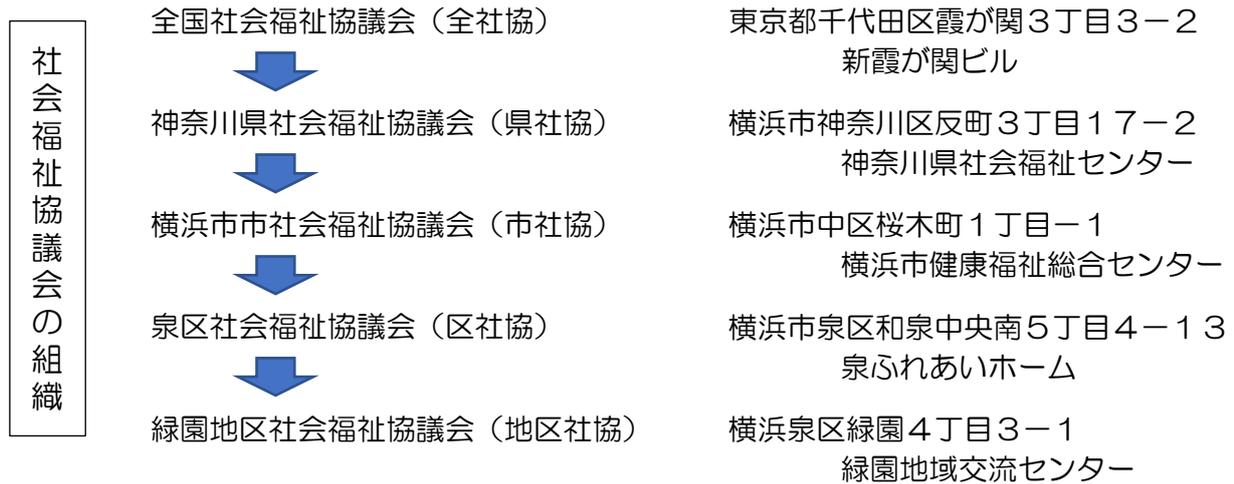
### 社会福祉法第107条：市町村地域福祉計画より

1. 市町村は、地域福祉の推進に関する事項として次に掲げる事項を一体的に定める計画を策定するよう努めるものとする。
2. 市町村は、市町村地域福祉計画を策定し、又は変更しようとするときは、あらかじめ、地域住民等の意見を反映させるよう努めるとともに、その内容を公表するよう努めるものとする。
3. 市町村は、定期的に、その策定した市町村地域福祉計画について、調査、分析及び評価を行うよう努めるとともに、必要があると認めるときは、当該市町村地域福祉計画を変更するものとする。

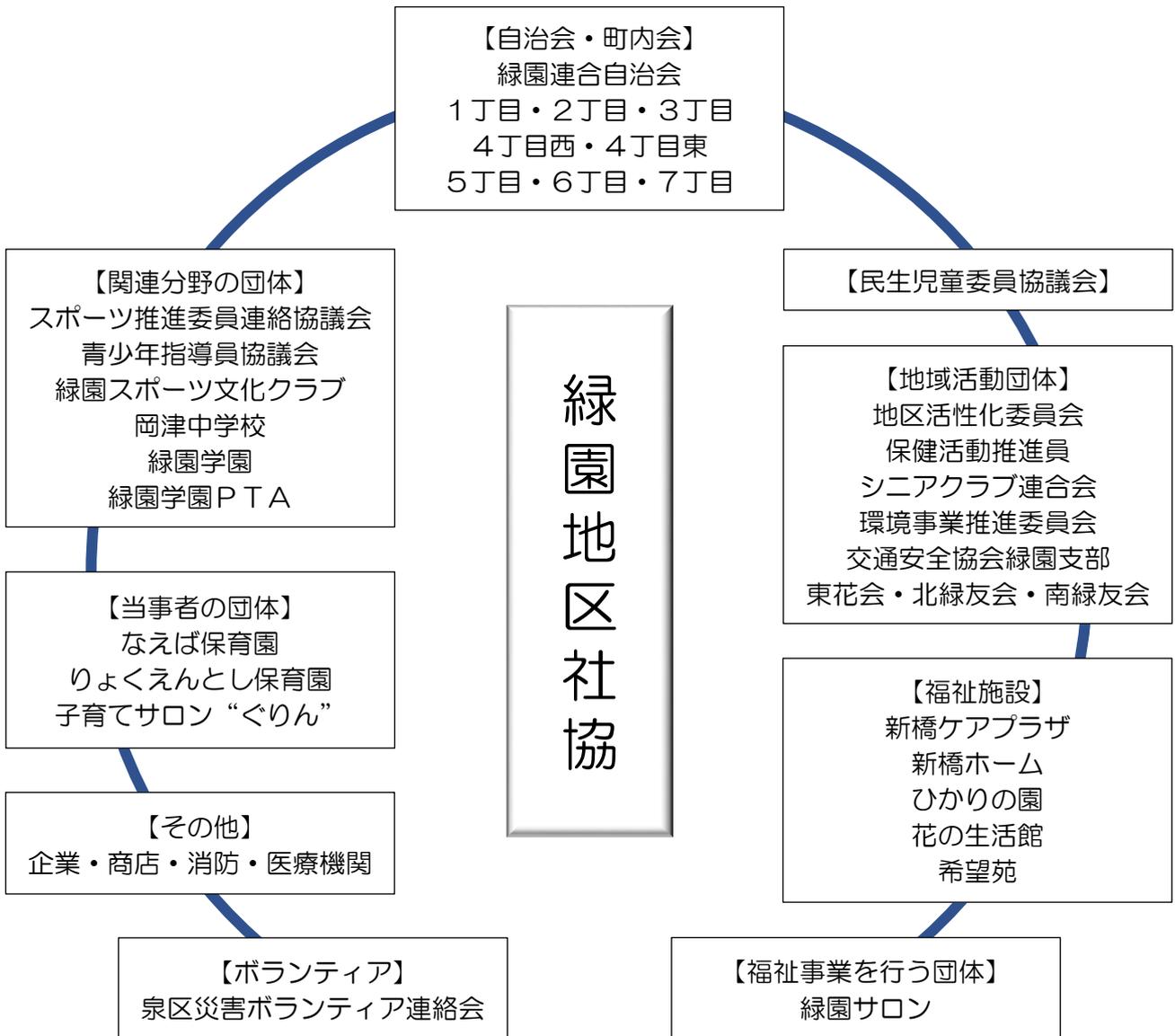
※令和2年4月1日現在で、全国市町村地域福祉計画の策定率は80.7%です。

注) 参考資料：泉わくわくプラン（第4期泉区地域福祉保健計画） 令和3年8月発行

# 社協組織と地区社協の構成



## 《地区社協の主な構成会員》



注) 横浜市の場合おおむね地区連合を単位として組織されています。

# 緑園地区 社会福祉と地区の歩み

社会福祉協議会および関連事項	地域情報・その他
明治22(1889)年 ~ 大正15(1926)年	
<p>明治10(1877)年5月 博愛社(後の日本赤十字社)設立            明治36(1903)年5月 全国慈善大会(第1回大会)開催            明治41(1908)年10月 中央慈善協会が発会            初代会長・渋沢栄一が協会設立趣意書を発表。            その後、数次にわたる組織変更や改称等を経て現在の            全国社会福祉協議会(全社協)となる。            大正5(1917)年5月 岡山県で済世顧問制度設置規定が            公布(12日)され、翌年には大阪府で方面委員制度が            設置されるなどと、広く全国に普及していく。            現在、この日が民生委員・児童委員の日となっている。            大正9(1921)年4月 横浜市に方面委員制度創設            大正10(1922)年3月 中央慈善協会が社会事業協会に            改称            大正13(1925)年3月 社会事業協会が(財)中央社会事業            協会に組織変更</p>	<p>明治元(1868)年10月(旧暦9月) 新元号『明治』に改元            明治5(1872)年10月 新橋(後の汐留駅)・横浜(現在の            桜木町駅)間に日本で最初の鉄道が開業            明治5(1872)年11月 太陰暦を廃止し、太陽暦を採用            明治20(1887)年7月 横浜・国府津間の鉄道が延伸。            程ヶ谷、戸塚、藤沢、大磯、国府津の各駅が開業            明治22(1889)年4月 神奈川県鎌倉郡中川村が誕生            (阿久和、岡津、上矢部、名瀬、秋葉の各村が合併)            明治22(1889)年7月 新橋・神戸間の鉄道全線開通            明治35(1902)年5月 戸塚・長後間の県道(現在の長後            街道)開鑿工事に着工、大正3年(1914)に完成            大正元年(1912)年7月 新元号『大正』に改元            大正10(1921)年 瀬谷柏尾道路(現在名)の工事に着工、            大正15(1926)年に観音寺前まで完成            大正12(1923)年9月 関東大震災</p>
昭和元(1926)年 ~ 昭和64(1989)年	
<p>昭和7(1932)年3月 全日本方面委員連盟発足            (後の全国民生委員児童委員連合会)            昭和21(1946)年9月 方面委員が民生委員と改称さる。            昭和21(1946)年11月 全日本方面委員連盟を全日本            民生委員連盟と改称            昭和22(1947)年4月 中央社会事業協会が日本社会事業            連盟と合併、(財)日本社会事業協会と改称            昭和22(1947)年11月 第1回共同募金運動実施            昭和23(1948)年7月 民生委員法施行、ここに地区毎の            民生委員協議会を組織することが規定された。            昭和25(1950)年11月 阿久和寮(現新橋ホーム)開設            昭和26(1951)年1月 社会事業協会が民生委員連盟・            同胞援護会と合併、(財)中央社会福祉協議会を設立            昭和26(1951)年3月 社会福祉事業法公布            昭和26(1951)年3月 横浜市社会福祉協議会設立            昭和26(1951)年3月 戸塚区社会福祉協議会設立            昭和27(1952)年4月 神奈川県社会福祉協議会設立            昭和30(1955)年4月 中央社会福祉協議会が改組改称を            経て(福)全国社会福祉協議会となり、現在に至る。            昭和33(1958)年12月 (新)国民健康保険法制定            昭和36(1961)年4月 国民皆保険・皆年金体制が実現            昭和47(1972)年4月 中川地区社会福祉協議会設立            昭和48(1973)年1月 老人医療費無料化等『福祉元年』            昭和61(1986)年11月 泉区社会福祉協議会設立            昭和63(1988)年3月 第1回泉区社会福祉大会            昭和63(1988)年8月 老人ホーム・希望苑開設</p>	<p>※昭和=1926年12月25日~1989年1月7日</p> <p>昭和元(1926)年12月 新元号『昭和』に改元            昭和14(1939)年4月 中川村は横浜市に編入され、同日に            設置された戸塚区の一部となる。            昭和22(1947)年4月 岡津中学校創立            昭和35(1960)年 中川連合自治会発足(岡津・三ツ境・            阿久和・新橋・名瀬・上矢部) 緑園地域は岡津に所属            昭和39(1964)年10月 東京オリンピック(第18回)            昭和39(1964)年11月 東京パラリンピック(第2回)            昭和47(1972)年2月 札幌オリンピック(第11回冬期)            昭和49(1974)年12月 中川第一土地区画整理組合設立            昭和51(1976)年4月 相鉄いずみ野線・緑園都市駅開業            昭和52(1977)年4月 岡津高等学校設立            昭和61(1986)年4月 戸塚区緑園(1~7丁目)誕生            (岡津、新橋、名瀬の各町一部が分町し緑園となる)            昭和61(1986)年10月 緑園都市住宅地分譲開始            昭和61(1986)年11月 泉区が戸塚区から分区            (戸塚区緑園は、泉区緑園となる)            昭和62(1987)年4月 緑園自治会発足(211世帯)            昭和62(1987)年4月 緑園都市コミュニティ協会発足            昭和62(1987)年5月 中川第一土地区画整理事業竣工式            昭和62(1987)年8月 第1回緑園納涼盆踊り大会            昭和63(1988)年4月 フェリス女学院・緑園キャンパス開設            昭和63(1988)年4月 サンステージ西の街入居開始            昭和63(1988)年5月 緑友会発足            昭和63(1988)年10月 中川連合運動会に参加</p>

社会福祉協議会および関連事項	地域情報・その他
平成元(1989)年 ※平成=1989年1月8日~2019年4月30日	
2月 老人福祉センター「横浜市泉寿荘」開所 6月 全国ボランティア大会(全社協主催) 現在は各都道府県持回りの全国ボランティアフェスティバルに発展	1月 新元号『平成』に改元 2月 泉図書館開館 4月 消費税実施(税率3%) 5月 緑園自治会館落成
平成2(1990)年	
3月 中川地区センター開館 9月 岡津・緑園地区敬老会	4月 緑園東小学校開校 4月 緑園都市駅前交番開所 5月 国際親善総合病院、関内から弥生台に移転開院 8月 サンステージ東の街入居開始
平成3(1991)年	
5月 泉公会堂オープン 9月 第1回緑園敬老祝賀会 (岡津から独立し、以降、緑園地区として毎年開催) 11月 初の地域ケアプラザ「上飯田地域ケアプラザ」開設	4月 緑園連合自治会発足(中川連合自治会から独立) 8月 第5回緑園納涼盆踊り大会 10月 第1回緑園連合運動会
平成4(1992)年	
3月 第5回泉区社会福祉大会 4月 新橋・緑園地区社会福祉協議会発足 4月 新橋・緑園地区民生委員児童委員協議会発足	4月 泉警察署、戸塚署より分離し開署 6月 緑園クラブハウス落成 9月 泉スポーツセンター開館
平成5(1993)年	
5月 障がい者福祉施設ひかりの園開設 5月 第1回緑園地区社会福祉協議会総会	2月 緑園消防出張所開設 6月 複合施設落成 (ひかりの園、花の生活館、緑園地域交流センター) 9月 泉区民文化センター「テアトルフォンテ」開館
平成6(1994)年	
1月 主任児童委員制度創設 12月 第1回新橋アツテ祭り (泉区内各地で行われている「ふれあい祭り」の先駆け)	4月 緑園西小学校開校 4月 緑園都市駅前交番コミュニティサークル発足 6月 和泉川の水辺拠点「地蔵原の水辺」開設
平成7(1995)年	
5月 西が丘コミュニティハウス開館 9月 第5回緑園敬老祝賀会	1月 阪神淡路大震災 10月 第5回緑園連合運動会
平成8(1996)年	
4月 「一人暮らし高齢者等定期訪問事業」全区で実施	8月 第10回緑園納涼盆踊り大会 10月 緑園10周年記念式典 11月 泉区制10周年、泉区総合庁舎完成
平成9(1997)年	
3月 第10回泉区社会福祉大会 4月 老人ホーム・横浜市新橋ホーム開設 5月 第5回緑園地区社会福祉協議会総会 11月 福祉活動交流拠点「泉ふれあいホーム」開所 12月 介護保険法成立	4月 消費税率引上げ(税率5%)

社会福祉協議会および関連事項	地域情報・その他
平成10(1998)年	
9月 さくら会(リハ教室)新橋・中川・緑園3地区合同発足	2月 長野オリンピック(第18回冬期)
平成11(1999)年	
3月 中川・新橋・緑園、NRS 支え合い連絡会発足	3月 相鉄いずみ野線延伸(いずみ中央～湘南台) 4月 平成の大合併スタート
平成12(2000)年	
4月 介護保険制度施行 9月 第10回緑園敬老祝賀会 10月 第1回緑園ふれあい祭り	10月 第10回緑園連合運動会 12月 横浜市南西部夜間急病センター開設
平成13(2001)年	
5月 いずみ中央地域ケアプラザ開所	8月 第15回緑園納涼盆踊り大会 11月 泉区ホームページ開設
平成14(2002)年	
2月 第15回泉区社会福祉大会 5月 第10回緑園地区社会福祉協議会総会 10月 ふれあいの場『緑園サロン』スタート	3月 保健所と福祉事務所を統合、福祉保健センター開設 3月 東花会発足
平成15(2003)年	
4月 緑園なえば保育園開園	5月 個人情報保護法成立(平成17年4月施行)
平成16(2004)年	
3月 緑園サロン・「第1回なえば保育園卒園児を祝う会」以降、毎年実施し継続中 6月 食事サービスボランティア『すみれ会』スタート以降、9年間にわたり食事会(年6回)・他の活動を展開 10月 第5回緑園ふれあい祭り	4月 市立保育園が局から区役所に編入 10月 RCA:平成16年度都市景観大賞で「美しいまちなみ優秀賞」を受賞
平成17(2005)年	
4月 第1期福祉保健計画(H17/4～H22/3) 6月 第1回緑園ふれあいフェスティバル 9月 第15回緑園敬老祝賀会	10月 第15回緑園連合運動会(雨天中止) 10月 RCA:第25回「緑の都市賞」で国土交通大臣賞(地域緑化部門)を受賞
平成18(2006)年	
4月 緑園地区社協ホームページ・正式立ち上げ 8月 老人ホーム・レストヴィラ名瀬の里開設 H28/4 ラヴィーレ緑園都市に改称 10月 地区社協だより緑園・創刊 12月 第1回高齢者とこどものクリスマス会	8月 第20回緑園連合夏祭り大会 11月 泉区制20周年、マスコット「いっずん」デビュー 11月 第1回緑園ふれあいスポーツフェスティバル
平成19(2007)年	
2月 第20回泉区社会福祉大会 3月 希望苑訪問(以後、ほぼ年1回継続中) 5月 第15回緑園地区社会福祉協議会総会	11月 緑園20周年記念式典 12月 第1回エンジョイライフメッセ

社会福祉協議会および関連事項	地域情報・その他
平成20(2008)年	
2月 第21回泉区社会福祉大会にて緑園地区の活動紹介 3月 横浜市新橋ホーム訪問(以後、ほぼ年1回継続中) 4月 親と子のいばしょ『ぐりん』スタート 4月 「緑園地域活動ガイドブック」完成、68団体を一覽に 7月 レストヴィラ名瀬の里訪問(R01/9 までほぼ年1回) 11月 地区社協だより緑園・第10号 12月 ひかりの園で「クリスマス会」(H25/12 まで毎年。 H23/7 からは同園・夏祭り支援を継続中)	1月 緑園20周年記念絵画・写真展/緑園都市駅構内等 3月 緑園20周年記念タイムカプセル埋設式典 埋設位置:緑園都市駅西口 ロータリー 4月 岡津高等学校が緑園総合高等学校に移行 11月 (第2回)エンジョイライフメッセ・2008
平成21(2009)年	
1月 横浜市「こんにちは赤ちゃん訪問事業」、訪問スタート 1月 地域子育て支援拠点「すきっぷ」開設 6月 第5回ふれあいチャリティフェスティバル 9月 第1回泉区福祉チャリティコンサート 10月 緑園地区社協:第58回神奈川県社会福祉大会にて 神奈川県社会福祉協議会会長表彰を受賞 10月 緑園ふれ愛メッセ2009(※第10回ふれあい祭り) 12月 新橋地域ケアプラザ・新橋コミュニティハウス開所	1月 泉区民活動支援センター開設 5月 裁判員制度スタート 7月 横浜港開港150周年、4月からの「開国博 Y150」の ほか、市内各地で種々の記念イベント開催 開港日:安政6(1859)年7月1日(旧暦6月2日) 11月 南北緑友会/美化運動で県知事賞受賞
平成22(2010)年	
4月 第2期福祉保健計画(H22/4~H28/3) 5月 緑園地区民児協が初の「子育て交流会」を始める 9月 第20回緑園敬老祝賀会 10月 緑園ふれ愛メッセ2010 11月 民児協・大人の居場所『ふらっと』スタート 11月 地区社協だより緑園・第20号	4月 緑園スポーツ・文化クラブ(RSC)発足 10月 緑園にボランティアコミュニティ「タスカル」登場 10月 第20回緑園連合運動会 11月 第5回緑園ふれあいスポーツフェスティバル
平成23(2011)年	
3月 親と子のつどいの広場「ピッコロひろば」開設 8月 泉区の傾聴ボランティア「モモ」が新橋ケアプラザに 「モモの部屋」をオープン 10月 第12回緑園地域福祉ふれあい祭り (“エンジョイライフメッセ”との統合開催から内容を一新) 12月 第1回室内ゲーム(麻雀)大会	3月 東日本大震災 8月 第25回緑園連合夏祭り大会
平成24(2012)年	
3月 第25回泉区社会福祉大会 5月 第20回緑園地区社会福祉協議会総会 11月 地区社協だより緑園・第30号	5月 緑園要援護者支援推進委員会設立総会 (通称:緑園キズーナ) 11月 泉区民ふれあい祭りに緑園キズーナとタスカルが 緑園地区として初めて参加

社会福祉協議会および関連事項	地域情報・その他
平成25(2013)年	
3月 緑園社協「一人暮らし高齢者のお食事会」 (「すみれ会」から引継ぎ1年ぶりに開催。以降継続) 4月 りよくえんとし保育園開園 4月 緑園なえば保育園あかちゃんのいえ開園 11月 第5回泉区福祉チャリティコンサート	8月 複合施設開設20周年記念式典 (ひかりの園、花の生活館、緑園地域交流センター)
平成26(2014)年	
6月 第10回ふれあいチャリティフェスティバル 10月 第15回緑園地域福祉ふれあい祭り 11月 地区社協だより緑園・第40号	4月 消費税率引上げ(税率8%) 6月 『緑園子ども見守りプロジェクト』スタート
平成27(2015)年	
9月 第25回緑園敬老祝賀会 11月 第5回室内ゲーム(麻雀)大会 11月 第1回緑園芸能祭	8月 東花会、道路愛護活動で国土交通大臣感謝状受賞 11月 第10回緑園ふれあいスポーツフェスティバル 12月 緑園周回バス試験運行 相鉄:12/1~H28/2/29
平成28(2016)年	
4月 第3期福祉保健計画(H28/4~R03/3) 7月 民生委員制度創設 100 周年記念全国大会 7月 第1回緑園体力測定会 11月 地区社協だより緑園・第50号	2月 緑園周回バス試験運行 神奈中:28/2/1~4/30 10月 第25回緑園連合運動会 11月 泉区制30周年記念式典
平成29(2017)年	
2月 社協研修会:第1回認知症サポーター養成講座開催 2月 第30回泉区社会福祉大会 4月 緑園地区社協:日頃の広報活動に Facebook採用 5月 第25回緑園地区社会福祉協議会総会 10月 緑園地区社協:第37回横浜市社会福祉大会にて、 横浜市社会福祉協議会会長表彰を受賞 11月 第1回緑園キッズフェスティバル	4月 緑園総合高等学校が緑園高等学校に改称 8月 第30回緑園連合夏祭り大会 11月 緑園30周年記念式典
平成30(2018)年	
5月 地区社協だより緑園・号外 ※ボランティア募集 5月 緑園地区社協:「緑園地区福祉の窓口」チラシ発行 11月 地区社協だより緑園・第60号 11月 第10回泉区福祉チャリティコンサート (その後休止)	
平成31(2019)年 ※4月30日まで	令和元(2019)年 ※5月1日から
6月 第15回ふれあいチャリティフェスティバル 10月 ふれあい・助け合いの場『さくらカフェ緑園』オープン 10月 第20回記念緑園地域福祉ふれあい祭り 11月 第5回緑園芸能祭 12月 岡津地域ケアプラザ開所	5月 新元号『令和』に改元 10月 消費税率引上げ(税率10%) 軽減税率(8%)が導入され食料品や新聞などが対象 10月 緑園東小学校・創立30周年記念行事を開催 11月 相鉄・JR 直通線開業(西谷駅~新宿方面へ) 12月 中国武漢市で原因不明の肺炎が発生

社会福祉協議会および関連事項	地域情報・その他
令和2(2020)年	
<p>1月 地区社協だより緑園・第66号を発行 その後、新型コロナウイルス感染症拡大により各種行事が中止・縮小となり、「たより」の発行もほぼ1年間中断。</p> <p>9月 第30回緑園敬老祝賀会/式典は中止・記念品配布</p> <p>11月 泉区福祉チャリティコンサート:再開希望が多く検討を進めていたが、コロナ禍の状況に鑑み再開見送り。</p>	<p>1月 神奈川県内で国内第1例目の新型肺炎感染者発表</p> <p>1月 WHO:新型肺炎につき公衆衛生上の緊急事態宣言</p> <p>2月 クルーズ船で新型肺炎感染者確認、横浜港で検疫</p> <p>3月 WHO:新型肺炎(COVID-19)につきパンデミック宣言</p> <p>4月 神奈川、他6都府県に「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が発出さる(以下、神奈川県のみ抜粋)</p>
令和3(2021)年	
<p>4月 第4期福祉保健計画(R03/4~R08/3)</p> <p>11月 地区社協だより緑園・第70号</p>	<p>1月 緊急事態宣言(2回目)</p> <p>4月 新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置</p> <p>7月 東京オリンピック(第32回)</p> <p>8月 緊急事態宣言(3回目)</p> <p>8月 東京パラリンピック(第16回)</p>
令和4(2022)年	
<p>3月 第35回泉区社会福祉大会 中止(第33~35回)</p> <p>4月 泉区チャリティコンサート、今後の開催中止を決定</p> <p>5月 ふれあい健康づくり『ラジオ体操』スタート</p> <p>5月 第30回緑園地区社会福祉協議会総会(書面表決)</p> <p>◇◆◇ 緑園地区社協30周年記念行事 ◇◆◇</p> <p>10月 第23回緑園地域福祉ふれあい祭り</p> <p>11月 第6回緑園キッズフェスティバル</p>	<p>1月 まん延防止等重点措置(2回目)</p> <p>3月 緑園東小学校・西小学校閉校</p> <p>4月 緑園義務教育学校『緑園学園』開校 登下校見守り活動スタート</p>

# 緑園地区社協30周年事業

## 《緑園地区社協30周年記念事業》

### 1. 第23回緑園福祉ふれあい祭り

令和4年10月23日（日）緑園地域交流センター及びひかりの園を会場として開催、従来からは開催場所を変更、模擬店やアトラクションの種類などの規模を縮小、新型コロナウイルス感染症対策を取り開催しました。33の団体が参加、1000人強の来場者で盛況裡に終わりました。



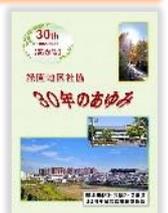
### 2. 第6回緑園キッズフェスティバル

令和4年11月7日（日）緑園東公園多目的広場で開催（新型コロナウイルス感染防止策とし会場を屋外に変更）、秋晴れのもと運動会方式でのイベントに500名程が来場、親子で楽しむ姿がありました。



### 3. 記念誌「緑園地区社協30年のあゆみ」発行

緑園地区社協は令和4年に発足30年を迎えました。これを機に、先人の努力と活動の基本を纏め、今後の活動の指針ともすべく、記念誌「緑園地区社協30年のあゆみ」を発行しました。



# 地域福祉保健計画の地区別計画（1）

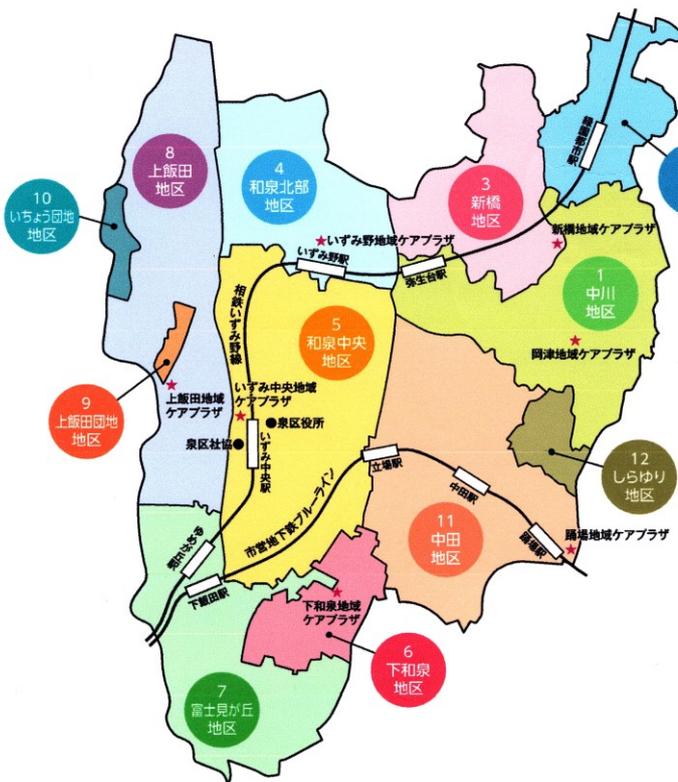
## 《地区別計画の位置づけと役割》

地区別計画は、より身近な地域の課題に対して、きめ細かく対応するための、地域住民の皆様や活動団体による支え合いの取組を示すものです。それぞれの地域で、福祉保健活動に関わる方々を中心に、地域住民自ら策定した計画です。

泉区では、第1期計画から、連合自治会・町内会のエリアを基にした12の地区ごとに、地区別計画を策定・推進しています。

第4期計画では、それぞれの地区で目指すまちの姿を実現するために、目標と取組を検討し、地区別計画を策定しました。

### 泉区内の12地区



### 次ページ以降の掲載内容

第1期福祉保健計画  
(平成17年～平成21年)

第2期福祉保健計画  
(平成22年～平成27年)

第3期福祉保健計画  
(平成28年～令和2年)

第4期福祉保健計画  
(令和3年～令和7年)

### 12地区別計画の基本理念

地区名	基本理念
中川地区	ご近所で助け合えるまちを目指して
緑園地区	つながりの輪を広げ 支えあい・助け合うまち緑園
新橋地区	ぬくもりのある町しんばし
和泉北部地区	健やかで明るい、ふれあいのあるまち
和泉中央地区	誰もが楽しく安心して暮らせるまち
下和泉地区	みんなが支え合い、安心して健康に暮らせるまち
富士見が丘地区	ご近所どうして助け合い 安全・安心・快適なまちづくり
上飯田地区	みんな仲間のまち 上飯田 ～あいさつと笑顔とやさしさと～
上飯田団地地区	支え合い、安心して暮らし続けることができる上飯田暖地
いちょう団地地区	こんにちは 你好 Xin chào みんな笑顔で支えあうまち
中田地区	みんなで支えあい、ともに助け合う(まち)中田
しらゆり地区	ほどよくつながる楽しいまち “しらゆり”



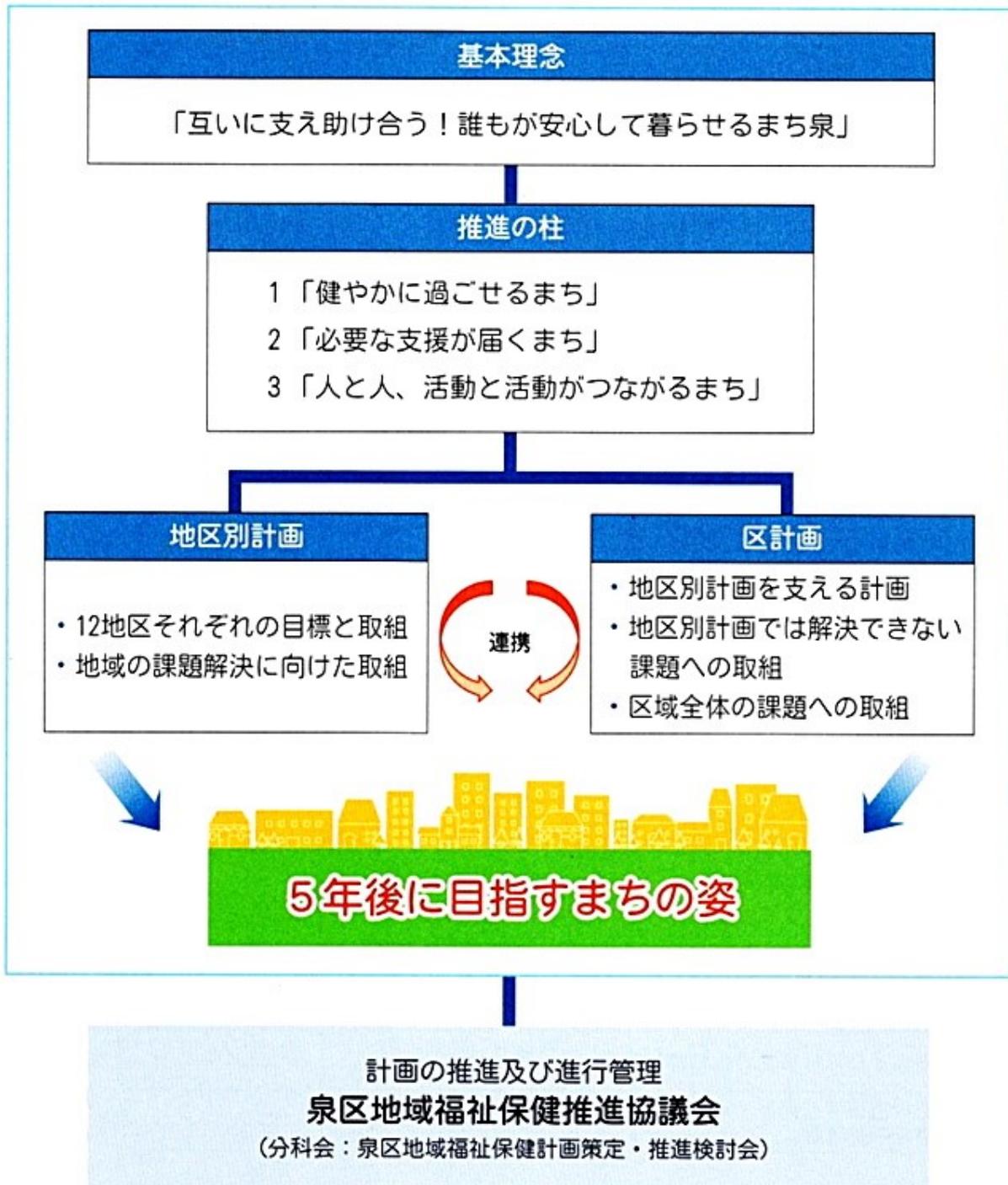
泉わくわくプラン推進キャラクター  
『いずちゃん』です。 よろしく！

# 地域福祉保健計画の地区別計画（2）

第4期泉区福祉保健計画の愛称を区民の皆様にとって覚えやすく、親しみを持って、公募にて決定、今後は「泉区わくわくプラン」を愛称として、様々な福祉保健の取り組みを進めていきます。

## 第4期泉区地域福祉保健計画

【計画構成】（計画期間：令和3年度～令和7年度）



参考文献：令和3年8月発行の泉わくわくプラン：第4期泉区地域福祉保健計画より

# 第1期福祉保健計画(H17年度~H21年度) No.1

横浜市の地域福祉保健計画とは、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指し、住民、事業者、公的機関（行政・社会福祉協議会・地域ケアプラザ等）が福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支え合いの仕組みづくりを進めることを目的として、策定・推進するものです。

平成17年度緑園地区地域福祉保健計画

## 緑園地区地域福祉保健計画ができました。ごらんください！

誰もが気軽に手をさしのべられる  
まちになりたい!!

### ～緑園地区の特徴～

- ・約20年前から開発の進んだ、一戸建とマンション中心の新しい街
- ・高齢化率10.8%と若い街
- ・地域住民に多彩な専門職の人がいる
- ・区内、唯一大学がある
- ・区外へ通勤している人が多い
- ・高低差が40mあり、起伏が大きい



### ～緑園地区の現状～

- ・隣近所の交流が少ない
- ・地域の活動があまり知られていない
- ・地域の活動に若い世代の参加が少ない
- ・地域に公立中学がなく、私立中学への進学率が高い
- ・核家族が多い

人情あふれる  
あたたかいまち  
緑園

## 「ぼうあつたらりりな」

- ① 地域の交流が盛んになり、誰もが顔見知りになる（向こう三軒両隣の関係ができる）
- ② 手助けがほしくて困っている時に、安心して身近に相談できる人や場所がある
- ③ 地区で行われている福祉や保健の活動を誰もが知っている
- ④ 誰もが活動に参加でき、活動をになっていく人たちが増える
- ⑤ 地区の活動に参加したくてもできない人（寝たきりの人・外出に手助けのいる人など）にも手が差し伸べられる
- ⑥ 誰もが、持っている知識や経験を活かして、生き生きと活動できる

### 17年度の目標

1. 地区で活動している福祉と保健の団体が交流を図り、連携を深める。
2. 地区の多くの人たちが顔見知りになる。
3. 地区で行われている活動の情報発信を強化する。

### 17年度具体的な活動内容

- ① 夏ごろに緑園地区で福祉と保健の活動をしている人や関心のある人たちが集まり、意見交換や交流を行います。
- ② 秋ごろに子どもから高齢者までの世代間の交流の場をもうけます。
- ③ 情報発信について、必要な人が必要なときに情報をキャッチできる仕組み作りを検討します。同時に地域で行われている活動について幅広く情報を集めていきます。
- ④ 3月に地域福祉保健計画の17年度の活動についてふりかえります。

# 第1期福祉保健計画(H17年度~H21年度) No.2

## ＜緑園地区の状況＞

平成17年3月現在

	人口	世帯数	年少人口 (15才未満人口)	高齢人口 (65才以上人口)	出生数 (人口千対)	死亡数 (人口千対)
緑園地区	15,329	5,549	2,562(16.7%)	1,656(10.8%)	157(10.3)	52(3.4)
泉区	153,229	59,653	22,648(14.8%)	25,794(16.8%)	1,459(9.5)	969(6.4)

- ★ 緑園地区高齢化率：6.0%(平成7年3月時点)⇒10.8%(平成17年3月時点)
- ★ 緑園地区年少人口割合：22.9%(平成7年3月時点)⇒16.7%(平成17年3月時点)
- ※ 出生数、死亡数は集計中のため、平成15年9月時点のもの

## ＜緑園地区のボランティアによる福祉保健活動＞(現在、把握されているもの)

主催	緑園サロン	すみれ会	ストレッチ 体操の会	歩こう会	送迎グループ
対象者	60歳～	一人暮らし高齢者	東花会加入 高齢者	東花会加入 高齢者	送迎が必要な 高齢者・障害者
会場	緑園地域 交流センター	緑園地域 交流センター	サンステージ 緑園都市東の街 コミュニティセンター	/	なし
主な開催日 回数	第2木曜日 第4金曜日	年4回	毎週月曜日	月1回	月2～3回程度
内容	ゲーム、 おしゃべりなど	昼食会と交流 (食事サービス)	ストレッチ体操	ウォーキング	送迎

名称	しゃべり場 だんだん	子育てサロン	保育園園庭開放	おもしろ科学 探検隊	つくしんぼう の会
対象者	地域の高齢者 (要介護者中心)	未就学児と その保護者	未就学児と その保護者	小学生以上(1,2年 生は保護者同伴)	未就学児と その保護者
会場	法人事務所、 地区センターなど	緑園地域 交流センター	緑園なえば保育園	緑園なえば保育園	緑園なえば保育園
主な開催日 回数	年10回	第4火曜日	第1と 第3土曜日	毎月第2土曜日	毎週火曜日
内容	おしゃべり会、会 食、お花見など	遊び・交流	自由遊び	光遊び、静電気で 遊ぼうなど	プログラムに そった活動

**福祉保健計画について一緒に考えたい人！を大募集中です。  
また、ボランティア活動の情報も集めています。**

緑園地区「地域福祉保健計画」をすすめる会

代表 飯塚 寿子、松本 保夫、船ヶ山 光子、後藤 登美雄



※情報の提供やお問い合わせは

事務局 泉区サービス課

古寺・夏目まで

☎ 800-2448

FAX 800-2513

# 第2期福祉保健計画(H22年度~H27年度) No.1

緑園地区  
第2期地域福祉保健計画

平成22年度~27年度



第2期計画（平成22~27年度）では  
こんなことに取り組みます！

### 緑園地区のめざすまちの姿（6年後のまちの姿）

こどもから  
高齢者まで元気  
で生き生きと  
暮らし、気軽に  
交流できるまち

ボランティアなど  
の活動に参加した  
くても、どうした  
らよいかかわらな  
い人が気軽に地域  
活動に参加できる  
まち

手助けがほしく  
て困っている時  
に、安心して  
身近に相談でき  
る人や場所が  
あるまち

### 緑園地区の皆さんの声（地区懇談会での生活価値観）

- 他人に助けを借りなくても、生活できると考えている人が多い
- あいさつはするが、それ以上の話までは進まない
- 緑園地域は他所から移住してきた人が多く、つながりが薄い

### 目標・具体的な取組

#### <目標>

地域の地道な活動を継続し、みんなの力で  
それぞれの活動を深化＝進化することで  
住みよいまちをつくりましょう

#### （具体的取組）

- 1 高齢者の居場所づくり  
（緑園サロン、すみれ会、友愛サ  
ロンなど既存の活動の充実）
- 2 こどもの居場所づくり  
（子育てサロン、こどもが集まる  
場所など現在の活動の充実）
- 3 健康づくり  
（こどもから高齢者までそれぞ  
れの年代の健康づくりなど現在  
の活動の充実）

【区役所、区社協、ケアプラザ】

地域諸団体の連携を図り広報活  
動などを通じて取組を支援しま  
す。

# 第2期福祉保健計画(H22年度～H27年度) No.2



## 緑園地区ってこんなまち



- 20年前に開発された一戸建てとマンション中心の新しいまち  
→隣近所の交流が少ない
- 高齢化率は平成17年9.4%、21年度は13.1%です。泉区全体が17.7%で、比較的若いまち、高齢化が一気に進むまち
- 子どもの数は減少傾向で、14歳以下の人口が15.1%となっている

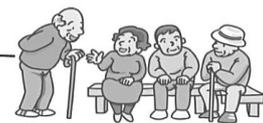
## 第1期計画（平成17～21年度）に取り組んだこと

- 「エンジョイライフメッセ」を開催し、「地域活動ガイドブック」を作成しました。これにより、地域の活動が知られるようになり、交流が広がりました。
- 子育てサークルが集まり、情報交換や子育てを考える懇談会を開催し、連携を図ることができました。

## ～地域活動の紹介～



### 子育てサロン



### 高齢者サロン 一人暮らし高齢者食事会



### エンジョイライフ メッセ



フラワーアレンジメント体験中

< 策 定 > 緑園地区社会福祉協議会

< 事務局 > 緑園地区支援チーム

○泉区社会福祉協議会 802-2150

○泉区福祉保健センター 800-2401

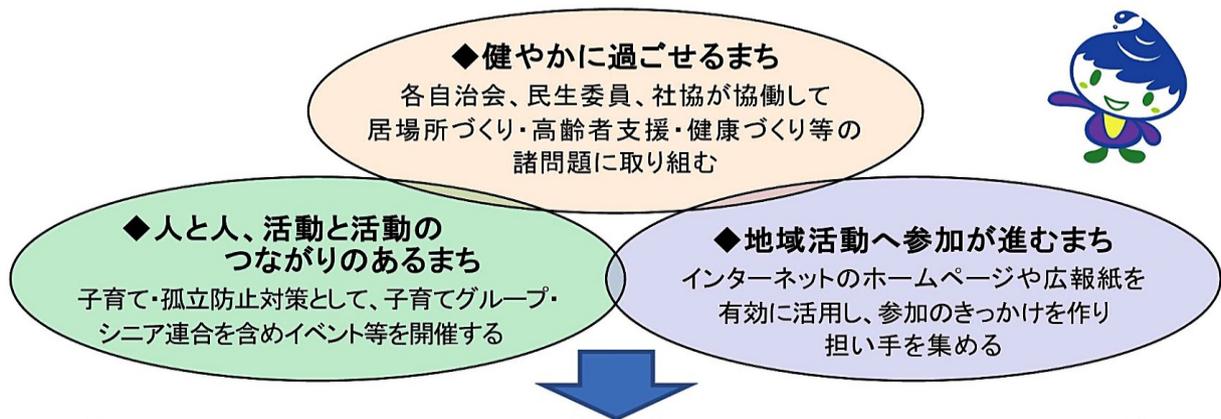
○新橋地域ケアプラザ 813-3877

第3期緑園地区地域福祉保健計画（平成28年度～32年度）

## 人・和のあるまち緑園

### 《 緑園地区が目指すまちの姿 》

緑豊かな心あふれるまち！福祉活動の充実で安心して暮らせるまち！



#### ＜緑園地区の現状＞

- 1) 開発以降28年が経過し、まちの再生と活性化が望まれている
- 2) 少子高齢化(長寿化)が進み、日常の生活面で助け合いが必要な方が増えている
- 3) 小中一貫校の設置や緑園周回バスの運行、防犯カメラの設置等が実現に向かっている
- 4) 元気な高齢者は、地域の活動に参加を希望する声が多い
- 5) 乳幼児から青少年まで、こどもの見守りの輪が広がりつつある

### 《 目標と具体的な取り組み 》

#### 《 目標 》

多くの住民が文化活動や健康づくりの地域活動に参画し、ふれあい、知り合って、お互いを見守り・支え合い・助け合いができるまちを目指す＝そのために緑園地区社協は福祉活動の中心となり、連合自治会・各種団体・行政・区社協・地域ケアプラザと協働して取り組む

#### 《 具体的な取り組み 》

##### ＜こどもと高齢者＞

- ・**子育ての連携**  
キッズフェスティバルの開催
- ・**こども見守り活動支援**  
キッズクラブ、その他
- ・**居場所の充実**  
町内別居場所づくり  
緑園サロン・大人の居場所  
子育てサロン等継続支援
- ・**シニアクラブの活性化**  
活動の充実と加入率UP

##### ＜健康づくりと予防＞

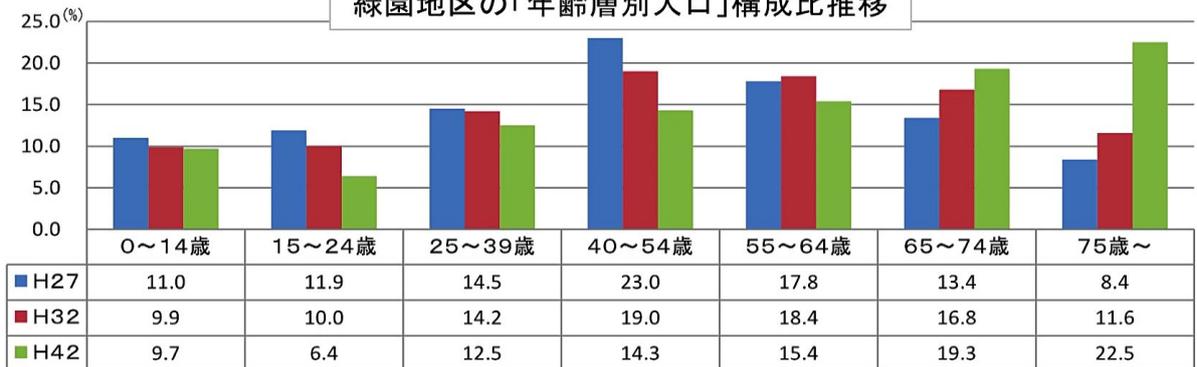
- ・**食事会の開催**  
年間2回開催の実施
- ・**健康体操の充実**  
月間2回開催の継続
- ・**ウォーキングの会発足**  
毎月1回町内散歩開催
- ・**ラジオ体操・ふまねっと運動などの軽スポーツの普及**  
自治会施設を活用し居場所を実施

##### ＜支え合い・助け合い＞

- ・**災害時要援護者支援**  
自治会と協働で支援
- ・**地区社協の拠点づくり**  
常設の拠点設置
- ・**認知症サポーター育成**  
講習会の開催と支援
- ・**障がい者支援活動**  
困っている人の手助け
- ・**広報活動の継続**  
広報紙とホームページ

# 第3期福祉保健計画(H28年度～R2年度) No.2

緑園地区の「年齢層別人口」構成比推移



緑園地区における人口は、平成27年3月末現在で14,413人となっている。  
 また、65歳以上の人口構成は5年前の平成22年には14.7%であったが、平成27年3月末には21.2%と高齢化が進み超高齢地域となっている。一方、19歳以下の若年層は17.1%に減少している。  
 泉区役所の人口推移想定によると、高齢単身世帯・夫婦のみ世帯が増加し世帯規模は縮小、子育て層と子どもが転出傾向にあるとしている。また、高齢者層は平成32年には28.4%、平成42年には41.8%と想定している。  
 これらのデータを見れば急速な高齢化(長寿化)対策は待たなしであり、地域福祉の取り組みはさらに重要性が増している。  
 (資料：平成27年3月泉区役所「緑園地区の人口・年齢構成」による)

## ◆第2期計画(平成22年度～27年度)の振り返り

第2期福祉保健計画では、「人・和のあるまち緑園」をスローガンに活発な活動を展開し、各種団体と協働で大きな成果を上げることができた。但し、個別の活動は活発に行われたが、人や活動のつながりが第3期に向けた課題となった。

- 地域における交流は、「ふれあい祭り」「ふれあいフェスティバル」を中心として多くの住民が参加し地域に根付いている。
- 「子育て」や「高齢者の居場所」活動は多く行われたが、団体間の連携と近場での開催要望があり今後の課題となった。
- 健康づくりは、関係部門の協力で「健康体操」「健康チェック」に多くの住民が参加した。拡大要望も多くさらに充実したい。
- 障がい者支援への取り組みも施設訪問を継続的にを行い、保育園児の協力で慰問をより楽しいものにする事ができた。

### 《 第2期計画での活動事例 》

#### 【地域交流の拡充・各種団体との協働】

- 福祉ふれあいフェスティバル(6月)
- 共同募金協力(10月) ○福祉ふれあい祭り(10月)
- 福祉保健研修会(随時) ○関係団体交流会(随時)



#### 【こども・高齢者の居場所づくり】

- 親と子の居場所  
「ぐりん」、「子育てサロン」、  
「ピッコロひろば」、…
- 高齢者の居場所  
「南・北緑友会」、「東花会」、  
「ふらっと(民児協)」、  
「緑園サロン」、…
- 居場所の充実



#### 【健康づくり】

- 健康体操教室、ヨガ体験教室 (RSC)
- スポーツフェスティバル (RSC・協力)
- 健康チェック (福祉ふれあいまつり)
- 関係部門との協働 (RSC/ケアプラザ等)



#### 【「障がい」の理解と施設訪問】

- 施設訪問：希望苑、新橋ホーム、名瀬の里
- 行事協力：ひかりの園・夏祭り
- 施設訪問情報収集等



<策定>

緑園地区社会福祉協議会

<事務局：緑園地区地域支援チーム>

泉区役所福祉保健センター  
電話：800-2433

泉区社会福祉協議会  
電話：802-2150

新橋地域ケアプラザ  
電話：813-3877

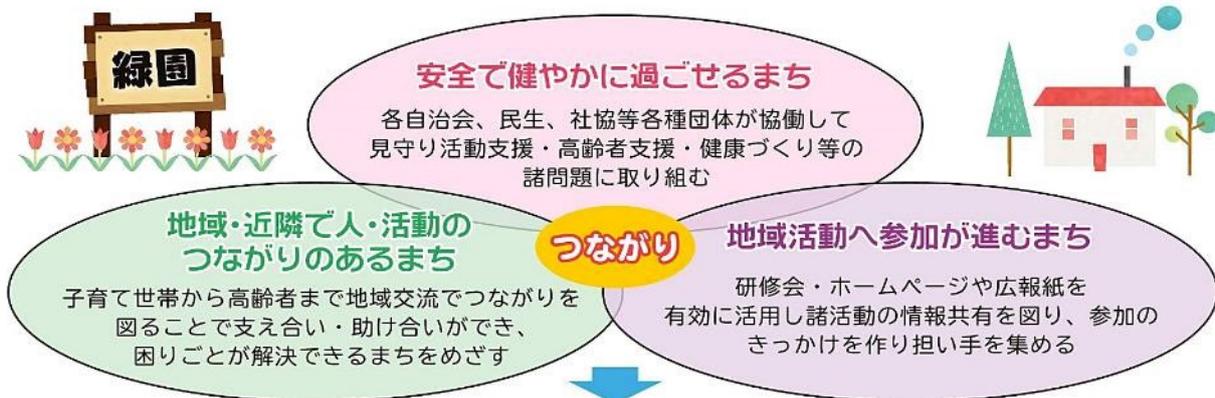
# 第4期福祉保健計画(R3年度～R7年度) No.1

緑園地区 第4期（令和3年～令和7年度）地域福祉保健計画

## つながりの輪を広げ 支え合い・助け合うまち緑園

／ 緑園地区が目指すまちの姿 /

地域福祉活動の充実を図り、誰もが健康で安全・安心して暮らせるまち！



### 第3期計画 平成28年～令和2年の振り返り

第3期福祉保健計画では、「人・和のあるまち緑園」をスローガンに活発な活動を展開し、各種団体と協働で大きな成果を上げることができた。又個別の活動は活発に行われたが、人や活動のつながりと担い手不足が第4期に向けた課題となった。

- ◆ 地域の交流は「ふれあい祭り」「ふれあいフェスティバル」「キッズフェスティバル」等子育て世帯から高齢者まで参加で定着。
- ◆ 子育て・高齢者サロンや居場所づくりは多く行われてきたが、団体間の連携と近場の開催要望があり今後継続課題となった。
- ◆ 健康づくりは関係部門の協力で「健康体操」「健康チェック」に多くの住民が参加した。拡大要望も多くさらに充実したい。
- ◆ 障がい者支援への取り組みも施設訪問やイベント支援が継続的に行われ、ボランティアの積極的協力で推進できた。
- ◆ 令和元年度後半から令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止策に伴いほとんどの事業を中止する状況となった。

**活動全般**

- 広報活動の強化  
広報委員会設置と開催
- ◎ 住民アンケートの実施  
各種団体の担い手募集  
趣味・特技で活躍の場提供
- 西小後利用福祉拠点活用  
子育て・介護などの福祉活動拠点

《第4期》  
**緑園地区  
地域福祉保健計画  
課題と施策**

※詳細は第4期実行計画による  
◎印 第4期新規テーマ

**A：地域交流事業推進**

- ふれあいチャリティフェスティバル
- 室内ゲーム大会
- 福祉ふれあい祭り
- ◎ 趣味文化的事業の開催
- ◎ 開催時住民アンケート実施と事業内容見直し

**B：子どもと高齢者**

- キッズフェスティバルの開催
- 子ども見守り活動支援
- ◎ 魅力ある居場所作りと情報交換会の実施
- ◎ 子どもと高齢者事業の検討
- ◎ 子育て協議会の設置  
キッズフェスティバルのメンバー兼務
- ◎ 防犯：見守り会議の開催  
年間2回程度開催

**C：健康づくりと予防**

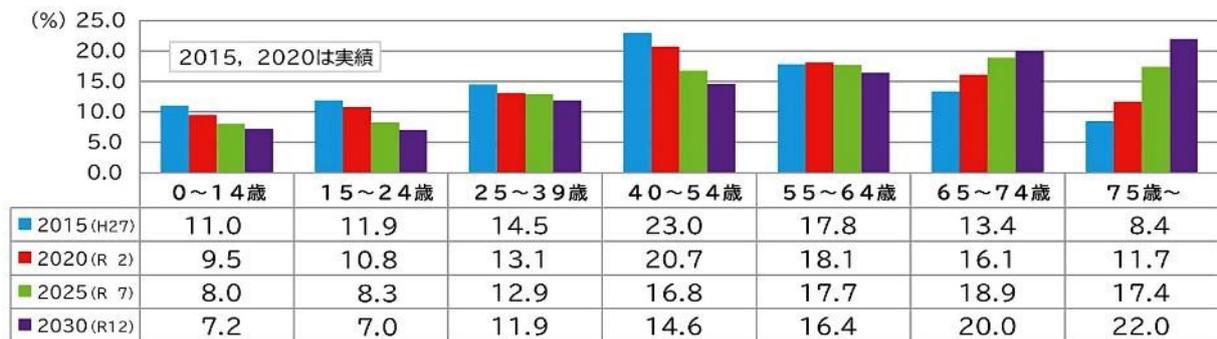
- 食事会の毎月1回開催  
さくらカフェ緑園
- 健康体操の充実  
月間3回開催の継続
- 地区社協研修会での開催  
健康づくり講座
- ◎ ふれあい健康づくりの推進  
健康づくり委員会の設置  
ラジオ体操を近場の公園を活用し自治会と連携実施

**D：支え合い・助け合い**

- 災害時要援護者支援  
自治会と協働で支援
- 地区社協の拠点づくり  
常設の拠点設置
- 障がい者支援活動
- ◎ 助け合いグループ活動検討
- ◎ 福祉の窓口の見直し
- ◎ 施設訪問先の見直し
- ◎ 災害時のマニュアル作り

# 第4期福祉保健計画(R3年度～R7年度) No.2

## 緑園地区の「年齢層別人口」構成比推移(実績と予測)



緑園地区における人口は、2020年3月末現在で5,926世帯で13,798人となっている。  
 また、65歳以上高齢者層の人口構成は5年前の2015年には21.8%であったが、2020年3月末には27.8%と高齢化が進み超高齢地域となっている。一方、24歳以下の若年層は20.3%に減少していてその後も減少傾向が続く。  
 泉区役所の人口推移想定によると、高齢単身世帯・夫婦のみ世帯が増加し世帯規模は縮小、子育て層と子どもが転出傾向にあるとしている。高齢者層は2025年には人口12,126人に対し36.3%、2030年には42.0%と想定している。  
 これらのデータを見れば急速な高齢化(長寿化)対策は待ったなしであり、地域福祉の取り組みはさらに重要性が増している。第4期福祉保健計画は2025年を目標として取り組む。(資料：2020年泉区統計情報及び2015年3月泉区役所「緑園地区の人口・年齢構成」による)

## 緑園社協は協働し近場でのふれあい健康づくりを進めます!



### 緑園地区集いの場

◆東の街「東花会」 60歳以上高齢者会員の集い	東の街 コミュニティ センター
◆2丁目「井戸端会議」 自治会親睦の居場所	自治会館
◆西の街「水曜日」 自治会員の居場所	西の街 コミュニティ センター
◆5丁目居場所「つながり」 自治会員の交流の場	クラブハウス
◆緑園サロン 60歳以上高齢者会員の集い	交流センター
◆南北緑友会 60歳以上高齢者会員の集い	クラブハウス
◆民児協「ふろっと」 大人の居場所	交流センター
◆地区社協「食事会」 一人暮らしの高齢者対象	交流センター
◆「さくらカフェ緑園」 高齢者対象の食事提供	交流センター
◆子育て支援「くりん」 親と子の居場所	交流センター

上記「集いの場」に参加ご希望の方は  
 緑園地区社協：090-3426-0294に  
 お問い合わせください。

<策定>

緑園地区社会福祉協議会  
 電話：090-3426-0294

<事務局：緑園地区地域支援チーム>

泉区福祉保健センター 電話：800-2433  
 泉区社会福祉協議会 電話：802-2150  
 新橋地域ケアプラザ 電話：813-3877

# 緑園地区社協主催の事業・行事

緑園地区社協の行事は予算の事業計画に基づき推進する、構成各種団体と協働して実施する。

《活動例》

令和3年8月現在

事業名称	担当	メンバー（協働団体等）	開催時期
定期総会	総務	役員・理事・評議委員	5月
三役会、理事・役員会	総務	三役会 … 会長・副会長・総務・会計 定例会 … 役員・理事	第二金曜日
さくらカフェ緑園	企画調整	地区社協・ケアプラザ・ボランティア	第一木曜日
第3期保健計画研修会（第1回）	総務	区役所・区社協・ケアプラザ 役員・理事	6月
緑園ふれあい チャリティフェスティバル	実行委員会	地区社協・シニア連	6月
ひかりの園夏祭り協力支援	企画調整	地区社協・交流センター協働	7月
緑園キッズフェスティバル	実行委員会	区役所・区社協・ケアプラザ・地区社協 なえば・りょくえんとし・GENKIDS ピッコロ・ぐりん・モンキッズ	7月
室内ゲーム大会	企画調整	地区社協・シニア連	7月
施設訪問（新橋ホーム）	企画調整	地区社協。民児協・ボランティア	9月
民生、友愛、保活、 ケアプラ、社協 合同会議	総務	地区社協・民児協・保活・ケアプラザ シニア連・友愛・区役所・区社協	8月
緑園敬老祝賀会	実行委員会	地区社協・民児協・シニア連 連合自治会・単位自治会・RCA	9月
街頭共同募金協力	総務	区社協・地区社協・民児協	10月
緑園福祉ふれあい祭り	実行委員会	地区社協・連合自治会 保育園・小学校・中学校・高校・大学 各種団体・ボランティア	10月
新橋ケアプラザ ありがとうまつり	有志	地区社協・有志	12月
子供と高齢者とのクリスマス会	有志	地区社協・シニア連 青少年居場所づくり協議会	12月
第3期保健計画研修会(第2回)	総務	区役所・区社協・ケアプラザ 役員・理事自治会・一般住民	2月
泉区社会福祉大会（※）	総務	区役所・区社協・地区社協	2月
施設訪問（希望苑）	企画調整	地区社協・民児協・ボランティア	3月
地区社協だより	広報	地区社協（地区社協だより）	隔月
ホームページ・フェイスブック	広報	地区社協（ホームページ・Facebook）	随時

（※）は区役所・区社協主催

# 各種団体の主な事業・行事

令和3年8月現在

主催団体（順不同）	行 事 名	開催日（予定）	参加予定人数	活 動 場 所
緑園スポーツ文化クラブ	健康体操 ヨガ	第2・3・4水曜日 第2土曜日	50人 10人	交流センター
シニアクラブ連合会	緑園芸能祭	11月	約300人	交流センター
民生児童委員協議会	大人の居場所 「ふらっと」	第2火曜日 8月・1月は休み	約20人	交流センター
環境事業推進委員会	各行事のごみ分別啓発 年末一斉清掃	8月・10月 12月第2日曜日	*** 約500人	イベント会場 緑園地区全域
保健活動推進委員会	赤ちゃん教室	第4木曜日	12組	自治会館
緑園サロン	月例サロン	第2木曜日・第4金曜日	20人	交流センター
親と子の居場所 “ぐりん”	親と子のいばしょ	第3木曜日・8月は休み	予約制	交流センター
南・北緑友会	定例会（誕生会）	第3日曜日	50人	クラブハウス
東の街「東花会」	街路清掃(ラービー含む) 東小通学路見守り	1回/月 第2土曜日 4～5回/月 毎金曜日	約35人 4人	駅から東公園 東小校門前
活性化委員会	緑園坂の駅ポンプ 緑園子ども見守りPJ	6/26～7/24 毎土曜日 春・秋開催	7～10人 約300人	東の街噴水広場前 緑園西・東小学校
青少年 居場所作り協議会	居場所作り	第4土曜日	10～70人	交流センター
スポーツ推進委員 連絡協議会	緑園ウォーキング	12月	30人	緑園周辺
青少年指導員協議会	緑園新春マラソン大会	2月	募集	緑園周辺
なえば保育園	なえばプレイデー 卒園を祝う会	11月 3月	園児	緑園東公園 交流センター
りょくえんとし保育園	幼児運動会 幼児クリスマス発表会	10月 12月	園児	西小体育館 交流センター
新橋ケアプラザ	ありがとう祭り	12月	***	新橋ケアプラザ
新橋ホーム	新橋ホーム納涼祭	7月	***	ホーム内ホール
ひかりの園	夏祭り クリスマス会	7月 12月	***	ひかりの園 交流センター
花の生活館	アロハサークル慰問	不定期	***	花の生活館
希望苑	希望苑フェスティバル	10月	***	希望苑広場

注) 連合・単位自治会は除く

## 緑園地区「自治会単位居場所作り」の推進(1)

緑園地域の皆さんだれもが参加できる“つどい”がたくさんあります

緑園地区社会福祉協議会では「第3期福祉保健計画（平成28年～32年）」の5ヶ年計画を作成、緑園地域の高齢化・長寿化対応として“健康づくりや交流を楽しむまち”を目指し活動しています。現在、自治会や緑園地区社協では次のような活動に取り組んでいます。皆様お気軽にご参加ください。

### 健康づくりに参加しませんか！

#### 《緑園地区・福祉活動拠点マップ》

名 称	番 地	番号
緑園地域交流センター	4-6-1	①
緑園クラブハウス	7-1-2	②
緑園自治会館	2-14-8	③
東の街コミュニティセンター	4-3-1	④
西の街コミュニティセンター	4-2-1	⑤



#### 《東花会》

[ 60歳以上の高齢者会員の集い ]

- ◆ 募集内容：会員
- ◆ 開催日時：第4土曜日 13:00～15:00
- ◆ 開催場所：東の街コミュニティセンター (④)
- ◆ 主催者：四丁目東の街 東花会
- ◆ 活動内容(例)
  - ・講演会・音楽会・旅行会
  - ・各種サークル・街路清掃他



#### 《ぐりん》

[ 親と子のいばしょ ]

- ◆ 募集内容：参加者
- ◆ 開催日時：第1木曜日 10:00～12:00  
第3木曜日 10:00～14:00
- ◆ 開催場所：緑園地域交流センター (①)
- ◆ 主催者：子育て支援有志
- ◆ 活動内容(例)
  - ・子育て中の親子の憩いの場



#### 《新橋地域ケアプラザ》

[ 地域のよろず相談窓口 ]

- ◆ 募集内容：よろず相談
- ◆ 開催日時：月～土 9:00～21:00 (日・祝～17:00)  
※休館日：第3月曜日(祝日なら翌日)
- ◆ 開催場所：新橋地域ケアプラザ(泉区新橋町 33-1)
- ◆ 主催者：社会福祉法人 開く会
- ◆ 活動内容(例)
  - ・地域活動の場や地域情報の提供
  - ・高齢者の介護など生活全般にわたる相談等

# 緑園地区「自治会単位居場所作り」の推進(2)

## 《二丁目 井戸端会議》

[ 二丁目の親睦の居場所 ]

- ◆ 募集内容：参加者
- ◆ 開催日時：第3木曜日 午前 10:00～12:00  
午後 14:00～16:00
- ◆ 開催場所：緑園自治会館 (3)
- ◆ 主催者：二丁目自治会
- ◆ 活動内容(例)  
・おしゃべり・歌・健康体操・何でもアリ

## 《五丁目 居場所・つながり》

[ 五丁目自治会交流の場 ]

- ◆ 募集内容：参加者
- ◆ 開催日時：奇数月第3金曜日 9:30～11:30
- ◆ 開催場所：緑園クラブハウス (2)
- ◆ 主催者：五丁目自治会
- ◆ 活動内容(例)  
・健康体操・講座・野菜抽選会  
・おしゃべり・合唱等

## 《『西の街』水曜会》

[ 西の街自治会員の居場所 ]

- ◆ 募集内容：参加者
- ◆ 開催日時：毎月・最終水曜日 10:00～12:00
- ◆ 開催場所：西の街コミュニティセンター (5)
- ◆ 主催者：西の街自治会有志
- ◆ 活動内容(例)  
・おしゃべり・なつかしい歌  
・演奏会・軽体操等

## 《南・北緑友会》

[ 60歳以上の高齢者会員の集い ]

- ◆ 募集内容：会員
- ◆ 開催日時：3/6/9/12月第3日曜日 11:00～14:00
- ◆ 開催場所：緑園クラブハウス (2)
- ◆ 主催者：南北緑友会
- ◆ 活動内容(例)  
・各種サークル・街路清掃・  
・誕生会・旅行等



## 《『民児協』ふらっと》

[ 大人の居場所 ]

- ◆ 募集内容：参加者
- ◆ 開催日時：第2火曜日 10:00～11:45
- ◆ 開催場所：緑園地域交流センター (1)
- ◆ 主催者：緑園地区民生委員児童委員協議会
- ◆ 活動内容(例)  
・ゲーム・合唱  
・健康チェック等



## 《緑園サロン》

[ 60歳以上の高齢者会員の集い ]

- ◆ 募集内容：参加者およびボランティア
- ◆ 開催日時：第2木・第4金曜日 13:30～15:30
- ◆ 開催場所：緑園地域交流センター (1)
- ◆ 主催者：地域有志
- ◆ 活動内容(例)  
・ゲーム・合唱・講演会  
・食事会・落語・おしゃべり



## 《茶話会と食事会》

[ 1人暮らし高齢者 ]

- ◆ 募集内容：参加者
- ◆ 開催日時：6月6日(水)、11月22日(木)
- ◆ 開催場所：緑園地域交流センター (1)
- ◆ 主催者：緑園地区社会福祉協議会
- ◆ 活動内容(例)  
・お話し・食事  
・演奏会・その他



掲載内容のお問い合わせは

## 《緑園地区社会福祉協議会》

社協専用電話

090-3426-0294

\*受付時間 AM9:00～PM5:00

不在時は追って連絡いたします。

# エンジョイライフ・メッセ2008

緑園地区で活動している55もの各種団体、グループ（以下「G」という）が一堂に会し、相互交流するとともに、その活動状況を住民に知ってもらい参加を促そうと、12月2日（日）緑園地域交流センターにおいて緑園活動見本市「エンジョイライフ・メッセ」が開かれた。緑園サロン・すみれ会などの高齢者対象G、育児サークル・モンキッズなどの子育て・青少年G、ランニングの会・テニスクラブなどのスポーツG、国際交流委員会・PCクラブなどの文化G、自治会・防犯パトロール協議会などの地域G、なえば保育園や福祉施設など幅広い団体が参加しており、住んでいる街を知る絶好の機会となっていた。



# 緑園ふれ愛メッセ2009・2010

人のつながり、地域活動の活性化と豊かな暮らしをめざす



# 緑園地域活動ガイドブック (1)

緑園には、活発に活動を行っている様々なグループがあるが、活動の情報が知られていない、一緒に活動する仲間を募るがなかなか集まらないなどの悩みを抱えている。そこで今回、緑園地区で現在活動している団体を地域に広く紹介し、団体相互の情報交換だけでなく、仲間を増やすきっかけにするため、このほど「緑園地域活動ガイドブック」を発行した。これは、連合自治会、緑園地区社会福祉協議会、緑園都市コミュニティ協会（RCA）、地域福祉保健計画を進める会が、緑園地域活動ガイドブック編集委員会を設け、区役所（地域振興課、福祉保健センター）、区社協の絶大な協力のもと作成されたもの。

このブックは、緑園地域交流センター、緑園自治会館、緑園クラブハウス、緑園東・西コミュニティセンター、RCA、緑園都市証明発行コーナー、泉区役所、泉区社協のほか、緑園地区の医療機関、商店街などに配架される。また発行とその内容の概要、配置場所などについては、緑園地区全戸にチラシで広報された。

## イキイキ活動しています。 掲載団体一覧！

### = 高齢者 =

すみれ会（ひとり暮らし食卓会）  
北・南緑友会（シニアクラブ）  
送迎ボランティア  
東花会（シニアクラブ）  
友愛活動推進員  
緑園サロン

### = 文化 =

アロハサークル（フラダンス）  
RCA国際交流委員会  
RMG緑園マザーズゴスペル  
栞・花サロン（押花・フリガ・ブドフワ）  
団塊世代バンドJ&B  
東敬書道会  
バラの会 ローズフラワー（フリガ・ブドフワ）  
ひさかた会（競技かるた）  
広若会（舞踊）  
百礎（俳句）  
緑園囲碁サークル  
緑園東小学校PTA・合唱部&焼き物の会  
緑園PCクラブ

### = 社会・地域活動 =

委嘱委員  
（家庭防災員、環境事業推進員、消費生活推進員、  
青少年指導員連絡協議会、体育指導委員連絡協議  
会、保健活動推進員会、民生委員児童委員協議会）  
交通安全母の会緑園地区  
送迎ボランティア  
21世紀の緑園都市を考える会  
緑園G30活動委員会  
緑園地区社会福祉協議会  
緑園都市駅自転車等防止推進協議会  
緑園都市駅前交番コミュニティーサークル  
緑園サンモール商店会  
緑園女性部  
緑園地区防犯パトロール協議会  
緑園都市コミュニティ協会（RCA）  
緑園連合自治会  
緑園1～7丁目自治会

### = 子育て・青少年 =

赤ちゃん教室  
おはよう林-ターズ（登校時の声掛け）  
おもしろ科学探検隊  
親と子のいばしょ“ぐりん”  
子育てサロン（緑園都市会場）  
子育て支援者相談  
つくしの会  
モンキッズ（育児サークル）  
緑園青少年居場所づくり協議会  
緑園西小学校PTA  
緑園東小学校PTA  
緑園読み聞かせの会

☆仲間がいっぱい☆  
エンジョイライフ！

### = 施設 =

花の生活館  
ひかりの園  
横浜市新橋ホーム

### = スポーツ・健康づくり =

居合道 ・ NPO横浜ラービークラブ  
気功友の会 ・ 健匠会（健康づくり）  
軟式少年野球「緑園ラービー」  
緑園テニスクラブ  
緑園ランニングの会

### = 支援メニュー =

相談機関：泉区社会福祉協議会、泉区生涯学習支援センター、ちょこっといずみ、横浜市ボランティアセンター、横浜市市民活動支援センター、RCA  
助成金：福祉の泉助成金、親子サークル育成事業、横浜市市民活動推進助成金、市民活動推進基金、ヨコハマ市民まち普請事業  
「活動場所マップ」もついています！！

# 緑園地域活動ガイドブック (2)

緑園地区の活動は下記のような内容で編集されました、地区社協版を見本として掲載します。

団体名	りょくえんちく しゃかいふくしきょうぎかい	
	緑園地区社会福祉協議会	<a href="http://www.ryokuen.gr.jp/external/shakyo/">http://www.ryokuen.gr.jp/external/shakyo/</a>
代表者名	ごとう とみお	
	後藤 登美雄	
代表者連絡先	[REDACTED]	
活動内容	目的と活動内容	地域住民の福祉活動に関する支援事業。特に高齢者・子育てグループ・障害者・老人施設訪問等の活動
	会員数	緑園住民（役員30名）
	活動日時・場所	随時・定例会（1回/月）
入会条件・方法・会費等	主として緑園で福祉の活動を行う福祉団体または個人。会費としては徴収していない。ただし町内会の協力による「賛助会費」や泉区社協からの「助成金」等を貴重な財源として活動している。	
活動を行っていて「こうだったらいいのにな」と思うこと	社会福祉事業は歴史もあるが、住民への理解と浸透性をよりよい形で行うことが課題のひとつとなっている。各種団体及び住民等の集える拠点があって何時も連絡・交流等が気軽に出来れば有効的と思う。	
年間活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期総会、月次定例会の開催、広報紙の発行</li> <li>・緑園ふれあいフェスティバル及び緑園ふれあいまつりの開催</li> <li>・一人暮らし高齢者食事会開催</li> <li>・交流会及び緑園地区協力団体ボランティア意見交換会</li> <li>・老人ホーム、障害者施設へのボランティアとして参加</li> <li>・高齢者と子供のクリスマス会</li> <li>・スポーツ大会、ふれあいウォーキング参加 など</li> </ul>	

準備や参加者を募るのは大変だけれど、みんなが喜んでくれるのがうれしいそうです。（豆記者）



毎年4回行っている「一人暮らし高齢者の食事会」桜の咲く大池公園での楽しい食事会風景



6月に行われる「緑園地域ふれあいフェスティバル」は毎年参加希望者が増加第3回は74組の参加で熱演・熱唱があり「地域住民交流が盛んになり顔見知りが多くなる」と好評、写真はハーモニカ演奏のグループ



秋に行われる「ふれあいまつり」が緑園連合7自治会各種団体17団体が参加盛大に行われる

## 社会福祉関連情報は下記へアクセスを！



—ホームページ—

パソネット泉

<http://pni.shakyou-iy.or.jp>

緑えんネット

<http://www.ryokuen.gr.jp>

# 地区社協主催各種行事写真集 (1)

## 緑園地域ふれあいフェスティバル



## 緑園福祉ふれあい祭り



# 地区社協主催各種行事写真集 (2)



# 各種団体のいちおし活動紹介（1）

## ◆緑園地区社会福祉協議会

### 《福祉ふれあい祭り》

会 長 菅野 英夫

緑園地区社協は、令和3年度より第4期地域福祉保健計画がスタートしました。誰もが健康で安全・安心して暮らせるまちをめざしています。その中でいちおし活動は「福祉ふれあい祭り」です。連合自治会ははじめ多くの各種団体が参加し、三世代交流の場として毎年10月下旬に開催しています。西小学校の校庭で周囲を各団体の模擬店で囲み、中心部では小学生から大学生のダンスなどの発表や趣味のグループの発表があり終日にぎわいます。

令和2年・3年は新型コロナ感染防止対策で残念ながら中止となりましたが、今後とも地域の交流の場として、緑園地域交流センターをメイン会場として開催しますので皆様のご参加をお待ちいたします。



## ◆緑園地区活性化委員会

### 《緑園子ども見守りプロジェクト》

委員長 長谷川 幹夫

緑園地区活性化委員会は、泉区より支援を頂き、地域の各学校や各種団体の協力のもと、さまざまな課題の解決に向け活動しています。主な部会は、緑の園の継承、緑園坂の駅ポンテ、小学生総合学習支援、緑園子ども見守りプロジェクト、タスカル等です。当委員会は今から約13年前に、泉区全12地区で地区経営委員会が発足し、緑園地区は活性化委員会の名称でスタートしました。多くの住民の参加で、緑園のまちづくり、活性化に向けて取り組んでいます。小学校関連のテーマでは、緑園の他、新橋、中川、名瀬の方々と協力して運営されています。



## ◆緑園地区保健活動推進員

### 《健康チェック》

会 長 岡本 けい子

保健活動推進委員は、横浜市長から委嘱された、地域の健康づくりの推進役で、行政の健康づくりのパートナーです。自らも健康づくりを実践するとともに周囲の人に広め、地域の「健康寿命」を延ばすことを目指して活動しています。具体的な活動は、

- ① 応急処置講習、生活習慣病予防講座、メタボリックシンドローム予防講座など、市や区が主催する研修会に参加して、健康づくりの知識と意識を高めます。
- ② 緑園連合自治会主催の行事での救護支援。
- ③ 緑園地区社会福祉協議会主催の「ふれあい祭り」で【健康チェックブース】を開設し、骨密度、体脂肪、血圧、足指力、血流年齢などの測定を行います。
- ④ 定例会を開催、委員相互の情報共有と交換を行います。



## 各種団体のいちおし活動紹介（2）

### ◆緑園地区スポーツ推進委員協議会 《緑園ウォーキング》 会長 井上 喜芳

スポーツ推進委員は横浜市から委嘱され、横浜市、泉区、緑園地区の各種イベントに協力して活動しています。横浜マラソン、世界トライアスロン、泉区駅伝大会への参加、子どもの集い、中川管内のドッジボール大会、緑園夏祭り、緑園連合運動会、緑園マラソンに運営協力しています。しかし、コロナ災禍のため、ほとんどのイベントが中止になっています。2021年度初めて開催できたのが12月5日の緑園ウォーキングです。緑園都市駅から名瀬にある門倉農園までウォーキングの後、農園でみかん狩りと焼き芋体験を行いました。多くの参加者で、快晴の空の下、元気に歩きました。コロナ災禍で日頃外に出られず、運動不足のところ少しでも体を動かすことができ良かったです。



### ◆緑園地区環境事業推進委員 《年末一斉清掃》 会長 高田 明

環境事業推進委員は、横浜市から委嘱を受け、泉区、緑園地区の環境美化、ごみ分別啓発活動を推進しています。夏祭りや運動会等の連合自治会の各種イベント時には、ごみ・資源物の分別指導、イベント終了後の周辺美化活動や、福祉ふれあい祭りでは、環境事業推進委員会としての出店を行い、お祭り来場者に、ごみ・資源物の分別体験ゲームをして頂き分別知識の再確認、啓発活動を行っています。年末にはRCA・連合自治会共催で地域一斉清掃を実施しています。各種団体、緑園高校、フェリス女学院等からも参加協力いただき「住みよい、きれいな街」を目指し、汗を流しています。



### ◆緑園地区民生委員児童委員協議会 《大人の居場所ふらっと》 会長 堀口 澄枝

大正6年に、岡山県で民生委員制度の源である「済世顧問制度」が創設されてから、平成29年で100周年を迎えました。そして緑園地区民生委員児童委員協議会は平成元年12月1日から活動が始まりました。民生児童委員は、地域の皆様の問題や困りごとをお聞きする身近な相談相手です。おもな活動は一人暮らし高齢者などの「地域での見守り」推進事業です。2020年からコロナ禍のなか感染対策をしながら訪問し、直にお声掛けする日々を送っています。毎月開催の「大人の居場所：ふらっと」は皆様の居場所でふらっと会食・唱歌・体操等が出来、ふれあい交流の場として活動しています。緑園で暮らすあなたとの「つなぎ役」をどうぞよろしくをお願いします。



## 各種団体のいちおし活動紹介 (3)

### ◆青少年指導員連絡協議会 ◆青少年居場所づくり協議会

《青少年居場所づくり》  
同上

会 長 甘楽 敬太  
会 長 松井 広志

青少年指導員連絡協議会・スポーツ推進委員連絡協議会・主任児童委員で構成され緑園シニア連・緑園学園・緑園連合・地区社協等に対する人的支援を行い活動をしています。青少年居場所作りは原則毎月第4土曜日9時～午前中開催するが、現在コロナ防止対策から中止や食品系の活動は避けて出来るだけ開催するよう進めています。行事内容としては卓球・ドッジボール・大縄跳び・オセロ・将棋等の常設コーナーのほか、ハイキング・七夕飾り・流しソーメン・凧揚げや昔遊びなど毎月テーマを設け実施しています。子供たちの元気な歓声や笑顔が私たちの願いです。



### ◆親と子のいばしょ “ぐりん”

《親と子のいばしょ》

代 表 阿部 恵子

地域のボランティアが未就学児とその養育者や、妊婦とその家族の支援のために集う場を提供しています。

- ☆くつろいでおしゃべりが出来る
- ☆手遊び、伝承遊び、絵本の読み聞かせ等で楽しんでもらう
- ☆専門家をお呼びして役立つ情報を伝えてもらう
- ☆季節の行事を取り入れて楽しいひと時を過ごす
- ☆お誕生日を一緒に祝う、などを行っています

また、地域の子育て関係団体が交流を持ち作り上げた「キッズフェスティバル」は多くの方々に参加頂いています。



### ◆緑園サロン

《サロン寄席・クリスマス会・新年会》

代 表 木次 順子

緑園サロンは、2002年10月に民生委員有志と市役所、新橋地域ケアプラザの協力で設立された「高齢者の居場所」です。新興住宅地緑園に引っ越しで、他所から転入してきた住民皆様の情報交換、友人作り、親睦などを目的に設立されました。

当初は、男性ボランティアも多くいろいろなゲーム（麻雀・トランプ・歌唱・折り紙・花札）、日帰りバス旅行など楽しんでいましたが、利用者・ボランティアの高齢化、また2020年はコロナ禍で4月～10月までの7か月間休会、行政と相談しつつ何度もボラ会議を開いて検討し11月から再開、昨年度は一度も休会せず開催出来ました。現在はゲーム類が出来ませんが、歌唱、軽い運動、頭の体操、お喋り等で参加者の親睦を図り、楽しく体力維持に努めています。



## 各種団体のいちおし活動紹介（4）

### ◆緑園地区シニアクラブ連合会

### 《緑園芸能祭》

会 長 後藤 登美雄

緑園地区シニア連合会は平成17年に中川地区より分離し誕生しました。緑園では4丁目東の街の「東花会」1・2・3・4丁目西の街の「南緑友会」、5・6・7丁目の「北緑友会」を統括し運営しています。「高齢者の生き甲斐と生活を豊かにする活動」「地域を豊かにする社会活動」をモットーとして活動しています。地域では連合自治会、社協との“つながり”で夏祭り、ふれあいフェスティバル、運動会などに参加しています。特に主催する「緑園芸能祭」は人気の中心であり、緑園地域交流センターで毎年秋に開催し終日カラオケ・舞踊等が主な発表です。今後も地域各団体と連携し活性化を図っていきます。



### ◆東花会

### 《フェリス通り清掃活動》

会 長 岩間 健一

東花会は、2002（平成14）年3月発足し、今年で20周年。2003年にボランティア活動の一環として（通称）フェリス通りの「街路清掃」活動を始めた。少年野球チーム「緑園ラービー」の球児たちが活動に参加し、高齢化する活動にフレッシュなエネルギーが吹き込まれた。令和を目前にした2019年3月、試行錯誤で「ポイ捨てゴミ隊」を始めた。トンク（ゴミばさみ）を持って、腰にレジ袋をつけて東の街噴水前広場を出発。ところが、トンクは出払い手元に無く、保護者のお嬢さんが持っていたので借用を申し出た。お母さんは、2～3のトンクを持っておられ、借りました。保護者たちは「マイ・トンク」を準備されていたのです。数人の球児たちと行動開始間もなくして、一人の少年が「おじさん、膝が疲れるでしょう。ボクがトンクを持つから渡して！」と。嬉しかった。それから後は、レジ袋を持って「ポイ捨てゴミはないか？誰が捨てるんだ！」と大声係に専念。球児たちは視力が良い、そして機敏。高齢化が進むシニア世代のボランティア活動、試行錯誤で楽しく前向きに。ありがとう！



### ◆南・北緑友会

### 《さわやかグリーン運動の会》

北緑友会 会 長 大野 恵美子  
南緑友会 会 長 根本 暉

昭和63年4月1日、緑園地域に最初のシニアクラブとして当会の前身である「緑寿会」が発足しました。その後会員増加により平成12年4月1日「緑友会」に改称し、さらに北と南に分割して運営の効率化を図りました。その後も、それまでに培ってきた親睦の輪を継続して、行事やクラブ活動は『南北一緒に』で現在に至っております。活動の一つとして『さわやかグリーン運動の会』があり、緑園クラブハウスと緑園自治会館のトイレ清掃と両施設の花壇および周辺の植栽の手入れ、さらに緑園都市駅から緑園自治会館までの道路の清掃を随時行っております。

次ページへ . . .

## 各種団体のいちおし活動紹介 (5)

・・・前ページより

この活動に対し泉土木事務所から「ハマロード・サポーター」の認定を受け、平成21年に神奈川県知事および平成22年に横浜市長から『長年に亘る貢献』に対し感謝状をいただきました。



### ◆緑園なえば保育園

#### 《子育て支援つくしの会》

園長 向田 まり子

緑園なえば保育園は、設立当時から地域の子育て中の親子が毎週火曜日保育園ホールや園庭で遊ぶ「子育て支援つくしの会」を実施しています。当時はまだ緑園地域にこのような場所がなかった為か多い日は100組200人程の親子さんが来てあそんでいました。年々泉区や緑園地域にも親子が集う場が出来たことで、参加人数は減っていますが、コロナ禍で活動が中止をしていた時期が終わり、再開した時には「大人の人と話ができるのが楽しい」「ホッとできます」という声がたくさんありました。また「子どもが同年齢の子ども同士で遊ぶ機会や場所がありました。又それも子どもむけにできている施設なので、安心して遊ばせられます」という声も聞かれました。地域に居場所があり続けること、そしてそこには話ができ人がいることの大切さを改めて確認をすることが出来ました。先人が教えてくれた子育ての知恵や、身体に優しい和食の話、出汁の取り方など。子育て先輩・孫育て中のスタッフと、おしゃべりしながら親子でのんびりゆったり遊んでもらえる、居場所です。



### ◆りよくえんとし保育園

#### 《クリスマス発表会》

園長 高橋 伊豆美

恒例の「小学館アカデミーりよくえんとし保育園」のクリスマス発表会を緑園地域交流センターで毎年開催しています。今回は新型コロナ感染対策としてクラスごとに劇と合奏・合唱の発表会となりました。前日子供たちは、おうちの人に見てもらうのが楽しみ、練習をしたくてたまらない様子でした。「先生はやらなくていいよ、僕たちで教え合えるから」という声も聞こえてきたほどです。そして迎えた本番、ウキウキ、ドキドキした子供たちの堂々たる発表から伝わってきたのは、子供たちの凛とした逞しさだったのです。達成感に満ち溢れた子どもたちは、こうやって立派になっていくのだと感じさせてくれました。



# 役員・理事・評議員名簿（H7年度～H15年度）

役 職	平成7年 (1995年)	平成9年 (1997年)	平成11年 (1999年)	平成13年 (2001年)	平成15年 (2003年)	
役員	会 長	柳田 昭	松本 輝雄	松本 輝雄	松本 輝雄	松本 保夫
	副会長	斎藤 義晴 松本 保夫	斎藤 義晴 松本 保夫	斎藤 義晴 松本 保夫	斎藤 義晴 松本 保夫	斎藤 義晴
	総 務	前田 照明 五十嵐 昭	前田 照明 五十嵐 昭	前田 照明 五十嵐 昭	五十嵐 昭 竹内 良子	高木 勝 芳賀 二美子
	会 計	松本 輝雄 山中 いく江	小倉 幸子 岩本 順子	小倉 幸子 岩本 順子	岩本 順子 林 正代	江戸 恵子 植松 孝温
	監 事	鈴木 吉夫 鈴木 太一	小宇佐 伸尚 小迎 壽和	小宇佐 伸尚 小迎 壽和	倉田 怜 横田 行雄	長谷川 勝巳 横田 行雄
顧問					松本 輝雄	
理 事	小倉 義弘 福田 康夫 志村 正之 林 清造 松本 サク 石川 節子 大堀 きよ 斎藤 栄二 西沢 初枝 竹内 良子 植松 孝温 桜井 武治 小倉 幸子 畑 美智子 横田 行雄 武内 清子 出井 小八 鳥山 和子 松野 光男 山宮 和弘 香川 正彦 松尾 紀子 鈴木 真	小倉 義弘 大矢善一郎 根本 秀樹 倉田 怜 石田 和雄 松本 サク 石川 節子 大堀 きよ 林 正代 西沢 初枝 遠藤 陽子 竹内 良子 植松 孝温 桜井 武治 松本 浩子 横田 行雄 高橋 美智子 斎藤 トク 大河原 洋吉 具志堅 幸司 松尾 紀子 鈴木 真 斎藤 功人	森 直一 上林 憲行 倉田 怜 石田 和雄 松本 淑子 皆川 澄子 森 とよ子 大堀 きよ 林 正代 遠藤 陽子 西沢 初枝 竹内 良子 植松 孝温 桜井 武治 倉田 直枝 横田 行雄 林 とみ 櫻井 愛子 桑原 豊子 東海林 明 阿部 武彦 日下 勝也 広井 法子 五十嵐 育子 斎藤 功人	前田 照明 森 直一 小林 一司 石田 和雄 西澤 初枝 松本 淑子 皆川 澄子 森 とよ子 遠藤 陽子 大堀 きよ 山口 桂子 植松 孝温 国井 百合 佐々木 康二 林 とみ 櫻井 愛子 桑原 豊子 瀬戸 芳彦 高山 博至 阿部 武彦 山地 浩 斎藤 三世郎 内田 隆夫 太田 忍 斎藤 功人	小川 洋 前田 照明 松浦 宏司 太田 弘 手塚 聡 大久保 広治 石田 和雄 添田 新治 住吉 一馬 佐々木 康二 後藤 登美雄 斎藤 智範 瀬戸 芳彦 伊藤 弘子 走内 慎一 伊月 裕子 上村 伸一 鈴木 誠 斎藤 功人	

# 役員・理事・評議員名簿（H18年度～H24年度）

役職	平成18年 (2006年)	平成20年 (2008年)	平成22年 (2010年)	平成23年 (2011年)	平成24年 (2012年)
役員	会長	後藤 登美雄	後藤 登美雄	後藤 登美雄	後藤 登美雄
	副会長	山川 昌一 牛見 とも子	深山 収 牛見 とも子	深山 収 山川 昌一	深山 収 山川 昌一
	総務	植松 孝温	植松 孝温 小島 優子	植松 孝温 小島 優子	山中 一彦 小島 優子
	会計	永楽 紘三	山中 一彦 須田 晴美	山中 一彦 須田 晴美	山越 みな子 須田 晴美 山中 一彦
	企画調整		王子田 英嗣	小野 典彦	江尻 哲二 中山 隆広
	広報部	菅野 英夫 今村 千恵	菅野 英夫 山川 昌一	菅野 英夫 山川 昌一	菅野 英夫 江尻 哲二
	監査	倉田 怜 青江 勝	倉田 怜 青江 勝	高野 稔 川澄 隆之	高野 稔 川澄 隆之
顧問		斎藤 義晴	斎藤 義晴	植松 孝温	斎藤 義晴
理事	佐藤 寿樹 石井 義昭 飯塚 寿子 船ヶ山 光子 宮本 利子 砂川 佳子 笹川 陸子 添田 新治	石田 和雄 奥津 正仁 東海林 紀子 清水 三男 反町 一郎 近藤 利作 石井 義昭 飯塚 寿子 船ヶ山 光子 関口 泰弘 永井 泰子	石田 和雄 奥津 正仁 岸川 久美子 佐野 充男 石井 義昭 山越 みな子 牛見 とも子 飯塚 寿子 船ヶ山 光子 國井 百合 向田 まり子	奥津 正仁 島田 由美子 奥津 正仁 岡本 けい子 清水 三男 宮本 美佳 石井 義昭 大沼 敏章 菅沼 富男 吉澤 逸男 山内 美沙子 牛見 とも子 飯塚 寿子 船ヶ山 光子 國井 百合 向田 まり子 西隈 肇	奥津 正仁 川口 美江子 國井 恵子 清水 三男 宮本 美佳 石井 義昭 大沼 敏章 菅沼 富男 吉澤 逸男 堀口 澄枝 牛見 とも子 飯塚 寿子 高橋 和子 向田 まり子 西隈 肇
評議員	飯田 宏二 飯塚 行夫 長谷川 勝巳 斎藤 功人 菱田 篤司	伊藤 圭治 布留川 敏男 井上 なおみ 内田 和義 深山 美江子 根本 暉 井上 早知夫 飯塚 行夫 井上 光枝 牧野 幹夫 斎藤 功人 菱田 篤司	伊藤 圭治 長谷川 幹夫 山中 美英 中島 信行 助川 貞一郎 吉崎 征二 内田 和義 深山 美江子 根本 暉 伊藤 正義 井上 早知夫 後藤 早苗 井上 光枝 佐野 岳人 斎藤 功人 菱田 篤司	横川 満 長谷川 幹夫 井上 喜芳 丸山 健一 太田 弘 菅野 英夫 石田 和雄 根本 暉 深山 美江子 八島 牧男 後藤 早苗 桃井 陽子 斎藤 功人 菱田 篤司	横川 満 長谷川 幹夫 井上 喜芳 堀江 吉春 八谷 道紀 菅野 英夫 薄井 純夫 八島 牧男 後藤 早苗 桃井 陽子 土屋 丈彦 菅野 健 斎藤 功人 菱田 篤司

# 役員・理事・評議員名簿（H25年度～H29年度）

役職	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	
役員	会長	後藤 登美雄	後藤 登美雄	菅野 英夫	菅野 英夫	菅野 英夫
	副会長	山川 昌一 川口 美江子	菅野 英夫 小島 優子	小島 優子 山中 一彦	小島 優子 山中 一彦	小島 優子 山中 一彦
	総務	植松 孝温 小島 優子 佐藤 卓司	佐藤 卓司 山越 みな子	佐藤 卓司 山越 みな子	佐藤 卓司 山越 みな子	佐藤 卓司
	会計	山越 みな子 須田 晴美 山中 一彦	山口 俊一 山中 一彦 川口 美江子	山口 俊一 川口 美江子	山口 俊一	板橋 久美子
	企画調整	國井 百合 四分一 昭司	國井 百合	國井 百合 後藤 登美雄	國井 百合	國井 百合
	広報部	菅野 英夫 江尻 哲二	江尻 哲二 四分一 昭司	江尻 哲二 四分一 昭司	江尻 哲二 四分一 昭司	江尻 哲二 四分一 昭司
	自治会 主担当	貝沼 貞夫  岡沼 幹夫 福永 毅 露木 秀敏 山口 俊一	早坂 勇 貝沼 貞夫 森園 健司 山形 隆康 坪島 毅 福永 毅 北村 眞子 薄井 純夫 須田 晴美	横川 満 篠原 誠 矢野 耕二 皆川 真一 八谷 道紀 小野寺 健 北村 俊義 薄井 純夫	葉山 恒夫 篠原 誠 竹田 正信 太田 広明 八谷 道紀 小野寺 健 木村 美希 薄井 純夫	葉山 恒夫 篠原 誠 石井 孝明 柴田 直子 須藤 文康 小野寺 健 真島 昭勝 山口 俊一
監査	高野 稔 川澄 隆之	川澄 隆之 武隈 評吾	川澄 隆之 武隈 評吾	川澄 隆之 武隈 評吾	川澄 隆之 武隈 評吾	
顧問	斎藤 義晴			後藤 登美雄	後藤 登美雄	
理事	奥津 正仁 牛見 とも子 堀口 澄枝 清水 三男 大嶽 久子 岡本 けい子 石井 義昭 菅沼 富男 榊 美温 根本 暉 皆川 澄子 高橋 和子 向田 まり子 西隈 肇	森川 恵司 牛見 とも子 堀口 澄枝 清水 三男 滝沢 廣務 浅井 礼子 清水 澄子 石井 義昭 菅沼 富男 榊 美温 根本 暉 皆川 澄子 高橋 和子 向田 まり子 高橋 伊豆美 西隈 肇 山川 昌一	森川 恵司 牛見 とも子 皆川 澄子 清水 三男 菅野 妙子 石井 義昭 岡本 けい子 石井 義昭 菅沼 富男 榊 美温 根本 暉 末永 章人 高橋 和子 向田 まり子 高橋 伊豆美 西隈 肇 石原 桂子 斎藤 功人	長谷川 幹夫 川口 美江子 水戸 正広 井上 喜芳 牛見 とも子 皆川 澄子 清水 三男 鈴木 慶子 岡本 けい子 石井 義昭 菅沼 富男 大野 恵美子 根本 暉 末永 章人 高橋 和子 向田 まり子 高橋 伊豆美 西隈 肇 石原 桂子 斎藤 功人	長谷川 幹夫 川口 美江子 水戸 正広 井上 喜芳 牛見 とも子 皆川 澄子 横尾 四郎 坂田 禮彦 岡本 けい子 石井 義昭 菅沼 富男 大野 恵美子 根本 暉 末永 章人 高橋 和子 向田 まり子 高橋 伊豆美 西隈 肇 石原 桂子 斎藤 功人	
	菱田篤司・評議員 斎藤功人・評議員					
評議員	横川 満 長谷川 幹夫 竹原 敏幸 福永 充宏 八谷 道紀 菅野 英夫 石田 和雄 薄井 純夫 八島 牧男 副島 江理子 副島 江理子 桃井 陽子 三上 大志 山口 正人	横川 満 長谷川 幹夫 田中 千草 鈴木 正泰 八谷 道紀 石田 和雄 成田 俊人 八島 牧男 副島 江理子 桃井 陽子 三上 大志 山口 正人 斎藤 功人	横川 満 杉山 昌樹 小野沢 隆司 中村 三美 八谷 道紀 田村 守雄 伊藤 正男 成田 俊人 八島 牧男 副島 江理子 小宮 寛之 三上 大志 山口 正人	葉山 恒夫 杉山 昌樹 加藤 英司 岩切 正哉 八谷 道紀 田村 守雄 伊藤 正男 成田 俊人 廣淵 徹志 副島 江理子 小宮 寛之 今井 智之 鈴木 英範	葉山 恒夫 杉山 昌樹 富永 豊 竹内 直樹 八谷 道紀 田村 守雄 伊藤 正男 成田 俊人 廣淵 徹志 副島 江理子 小宮 寛之 今井 智之 鈴木 英範	

# 役員・理事・評議員名簿（H30年度～R4年度）

役 職	平成30年 (2018年)	令和1年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)
役員	会 長	菅野 英夫	菅野 英夫	菅野 英夫	菅野 英夫
	副会長	小島 優子 山中 一彦	小島 優子 牛見 友香	小島 優子 牛見 友香	小島 優子 牛見 友香
	総 務	佐藤 卓司 小島 優子	加藤 正実 小島 優子 柴田 直子	加藤 正実 小島 優子 柴田 直子	加藤 正実 小島 優子 柴田 直子
	会 計	板橋 久美子 山口 俊一	山中 一彦 上野 ひづる	山中 一彦 上野 ひづる	高浦 広康 上野 ひづる
	企画調整	國井 百合 皆川 澄子	國井 百合 川口 美江子 皆川 澄子	國井 百合 川口 美江子 皆川 澄子	川口 美江子 大野 恵美子
	広報部	江尻 哲二 四分一 昭司 中西 淳博	江尻 哲二 四分一 昭司 中西 淳博	江尻 哲二 四分一 昭司 中西 淳博	江尻 哲二 松井 広志 神野 芳子
	自治会 主担当	葉山 恒夫 貝沼 貞夫 秀島 正修 伊藤 英男 橋田 弘志 小野寺 健 真島 昭勝 山口 俊一	小松 貴聡 野渡 祥子 結城 英恭 伊藤 馨 加藤 正実 小野寺 健 吉本 武雄 佐野 耕一	小松 貴聡 野渡 祥子 結城 英恭 伊藤 馨 加藤 正実 小野寺 健 吉本 武雄 佐野 耕一	大井 幹男 野渡 祥子 松本 寿恵子 高橋 晃次 加藤 正実 小野寺 健 中村 幸雄 佐野 耕一
	監 査	川澄 隆之 武隈 評吾	川澄 隆之 伊藤 正男	川澄 隆之 伊藤 正男	長谷川 幹夫 伊藤 正男
顧問	後藤 登美雄	後藤 登美雄	後藤 登美雄	後藤 登美雄	
理事	長谷川 幹夫 川口 美江子 牛見 とも子 井上 喜芳 水戸 正広 横尾 四郎 坂田 禮彦 岡本 けい子 石井 義昭 梶ヶ谷 陽子 菅沼 富男 大野 恵美子 根本 暉 末永 章人 高橋 和子 向田 まり子 高橋 伊豆美 相沢 美樹 石原 桂子 斎藤 功人	長谷川 幹夫 堀口 澄枝 井上 喜芳 水戸 正広 高田 明 木倉 史郎 岡本 けい子 石井 義昭 梶ヶ谷 陽子 堀 恭輔 大野 恵美子 根本 暉 木次 順子 阿部 恵子 向田 まり子 高橋 伊豆美 相沢 美樹 藤本 省二 石田 洋平 斎藤 功人	長谷川 幹夫 堀口 澄枝 井上 喜芳 水戸 正広 高田 明 石井 義昭 岡本 けい子 石井 義昭 梶ヶ谷 陽子 堀 恭輔 大野 恵美子 根本 暉 木次 順子 阿部 恵子 向田 まり子 高橋 伊豆美 相沢 美樹 藤本 省二 石田 洋平 斎藤 功人	堀口 澄枝 井上 喜芳 水戸 正広 高田 明 岡本 けい子 石井 義昭 岩間 健一 大野 恵美子 根本 暉 木次 順子 阿部 恵子 向田 まり子 高橋 伊豆美 相沢 美樹 藤本 省二 前川 涼 石田 洋平 福島 秀幸	堀口 澄枝 井上 喜芳 水戸 正広 高田 明 岡本 けい子 石井 義昭 岩間 健一 大野 恵美子 根本 暉 木次 順子 阿部 恵子 向田 まり子 高橋 伊豆美 相沢 美樹 藤本 省二 前川 涼 石田 洋平 福島 秀幸
	葉山 恒夫 杉山 昌樹 富安 豊 石井 好江 加藤 正実 田村 守雄 伊藤 正男 成田 俊人 廣淵 徹志 副島 江理子 小宮 寛之 三船 訓照 高橋 佳弘	小松 貴聡 貝沼 貞夫 神吉 務 秋吉 一久 加藤 正実 大野 英夫 吉本 武雄 成田 俊人 廣淵 徹志 副島 江理子 立田 順一 黒田直樹・文子 高橋 佳弘	小松 貴聡 貝沼 貞夫 神吉 務 秋吉 一久 加藤 正実 大野 英夫 吉本 武雄 成田 俊人 廣淵 徹志 副島 江理子 立田 順一 黒田直樹・文子 高橋 佳弘	小松 貴聡 貝沼 貞夫 松本 寿恵子 岩切 正哉 加藤 正実 松山 好 吉本 武雄 成田 俊人 廣淵 徹志 副島 江理子 鈴木 亘世 松本 直也 高橋 佳弘	小松 貴聡 貝沼 貞夫 福本 大郎 松田 篤佳 加藤 正実 松山 好 林 英一 成田 俊人 野口 弘之 山口 正人
評議員	葉山 恒夫 杉山 昌樹 富安 豊 石井 好江 加藤 正実 田村 守雄 伊藤 正男 成田 俊人 廣淵 徹志 副島 江理子 小宮 寛之 三船 訓照 高橋 佳弘	小松 貴聡 貝沼 貞夫 神吉 務 秋吉 一久 加藤 正実 大野 英夫 吉本 武雄 成田 俊人 廣淵 徹志 副島 江理子 立田 順一 黒田直樹・文子 高橋 佳弘	小松 貴聡 貝沼 貞夫 神吉 務 秋吉 一久 加藤 正実 大野 英夫 吉本 武雄 成田 俊人 廣淵 徹志 副島 江理子 立田 順一 黒田直樹・文子 高橋 佳弘	小松 貴聡 貝沼 貞夫 松本 寿恵子 岩切 正哉 加藤 正実 松山 好 吉本 武雄 成田 俊人 廣淵 徹志 副島 江理子 鈴木 亘世 松本 直也 高橋 佳弘	小松 貴聡 貝沼 貞夫 福本 大郎 松田 篤佳 加藤 正実 松山 好 林 英一 成田 俊人 野口 弘之 山口 正人

# 緑園地区社協の組織と会議

## (1) 役員の役割

役職	人数	主たる役割	具体的内容
会長	1名	会務統括 連合との調整	地区社協の福祉保健計画作成、各種助成金申請のチェック 区社協会長会出席、理事役員会開催・レジメ作成、総会の統括
副会長	2名	子育て・青少年	地区社協事業内容の検討取りまとめ 各種備品・用具等の管理
		高齢者・障がい者	高齢者事業全般取りまとめ・支援 研修会企画推進、さくらカフェ緑園運営
総務	1名	事務局長 総務全般	理事役員会司会進行・議事録作成、各種会議司会進行 区社協事務局長会議出席、総会資料取りまとめ、区社協活動費申請
	若干名	総務補佐	三役会・理事役員会案内と発信 各会議の出席者確認と欠席者フォロー 各種イベントの案内取りまとめ、研修会の案内取りまとめ
会計	2名	経理・会計 予算・助成金	総会収支報告、予算の作成、事業内容の検討 資金計画、助成金申請書の作成、ふれあい祭り企画、ひかりの園支援 月度経理、会計報告、各団体への支援金支払い、現金出納管理
企画調整	2～3名	イベント担当	ふれあい祭り・チャリティフェスティバルの企画推進 室内ゲーム大会の企画推進
		訪問先外部渉外	老人ホーム・障害者施設訪問の企画推進
		高齢者食事会等	食事会・茶話会の企画推進
広報	2～3名	HP・FBによる	各行事の情報伝達、ホームページ・フェイスブックの管理運営
		社協だより発行	地区社協だより「緑園」の内容企画と作成発信、各種団体の情報収集
自治会 主担当	各自治会 1名	単位自治会連携 事業活動への	社協行事参加、各自治会への活動報告、支援体制の確保 (各自治会数名の支援体制を構築) 定例会、定期総会、ふれあいチャリティフェスティバル 福祉ふれあい祭、前期・後期福祉保健計画研修会
監査	2名	会計監査	事業・決算・会計全般についての監査、総会における監査報告
協力員	若干名	行事担当	各行事に特化した支援者

## (2) 会議の種類

三役会	毎月	事業計画や方針の策定、事業予算の見積、各役員の役割分担、会計の選出等の検討
定例会	毎月	役員・理事全員による事業報告や検討事項および各理事の提案や報告を行う
委員会	随時	事業推進の検討や課題の整理等についての具体的な対応検討を行う（広報委員会等）

# 地区社協の財源と運営費

## 【地区社協独自財源】

- 会費（構成団体が出し合う運営・活動費）
- 賛助会費（地区社協の活動に賛同した人による寄付金）
- バザーやイベントなどの収益金

## 【区社協等による助成金】

- 共同募金・年末助け合い募金配分金
- 助成金等（世帯会費、賛助会費、善意銀行、寄付金等）

## 【緑園地区社協運営費】

- 例）毎年度予算策定時に立案する(事務局・会計)



申請先	種別	説明会等	内容詳細
市補助金	地区社協活動運営費	社協状況、事業計画、予算提出	5月申請書提出、7月入金
区社協補助金	地区社協機能強化費	組織強化、新規事業、講座・研修会	5月申請書提出、7月入金
	同上	継続事業・キッズフェスティバル	立上げ時に申請(3万円)、継続申請する
	同上	新規事業・電話相談	携帯電話費用(4万円)、困ったときの相談先
区社協助成金	福祉の泉助成金	福祉の泉助成金のでびき参照	会計報告、活動計画、予算案提出、1団体1事業
	福祉の泉助成金	集いの場(居場所づくり)	立上時に申請(4万円)、自治会単位の居場所作り
	地区社協育成費	地区社協活動運営費交付申請書	申請書提出、7月中旬振込
還元金	賛助会費分担金(1)	前年度賛助会費50%還元	会費の1/2が地区社協に還元(6月)
	同上(2)	当年度賛助会費50%還元	会費の1/2が地区社協に還元(12月)
	チャリティコンサート還元	チケット収益金の地区社協還元	11月終了後(令和4年度解散)
補助金助成金	緑園連合自治会補助金	前年度2月迄に当年度予算書提出	事後処理(会計より社協通帳に振込み)
	RCAからの補助金	ふれあい祭りへの援助金	事後処理
寄付金	キッズフェスティバル祝金	連合自治会より	招待状発送要
		RCAより	
	ふれあい祭り	祝儀	招待状発送要
収益金	ふれあいチャリティF	参加費及び販売品売上金	参加費用2,000円/人、他地区2,500円/人
繰越金	前年度より	H29年度より	H30年度より
預金利子	預金より		H30年度より
合計		当年度予算収入費用	H30年度より助成金の制度見直しあり

## 《例：令和元年度助成金申請変更》

「泉ふれあい助成金」… 全市統一した助成要件での市社協よりの補助金

「福祉の泉助成金」… 泉区独自の助成金

- 1) 申請手続き … 平成31年4月15日～4月27日、但し新規立上げの場合は4月1日～12月28日
- 2) 預金通帳の表紙と口座番号・口座名義を確認できる部分をコピーし、6月末までに事務局へ提出する。
- 3) 事業年度終了後約1ヶ月以内に完了報告書(原本と写し2部)を事務局へ提出する。
- 4) 収入合計から前年度繰越金・積立金を除いた額の20%以上の  
自主財源(会費・利用料・収益金・民間助成金)を確保している事業
- 5) 新規事業 … 常設拠点支援助成、食事サービス助成事業が追加となった。

# 地区社協の活動記録と文書の保存（1）

地区社協活動を進めるに当たり「話し合い」は大切ですが、話し合いを重ねても困りごとの解決は、すぐに結論が出ないことも多くあります。当初の課題や目的、経過の確認、関係者との情報共有、取組の結果や振り返りのためにも記録を残しましょう。これらの記録は、長く続く地区社協の活動や歴史を伝える一助にもなります。

また、長く活動を継続するためにも書類や記録は大切です。その種類ごとにファイルし、保存年数、保管方法などを決め、必要に応じて確認できるように管理しましょう。

## （1）記録の種類

会議記録	①会議名 ②日時 ③場所 ④参加者 ⑤テーマ ⑥内容
	⑦決定事項 ⑧次回に向けての検討事項 などを簡潔に記録
事業実施報告	①事業名 ②ねらい ③実施内容（場所・対象・参加者数）
	④振り返り ⑤次年度に向けて ⑥予算・決算 などを簡潔に記録

## （2）書類の種類と保存年数

### ①組織を運営する上で保管が必要な書類

5年保存	<ul style="list-style-type: none"> <li>規則、要綱、総会資料等、会の運営に必要なもの</li> <li>会計関係書類（帳簿、通帳、契約書、領収書等） ・名簿</li> <li>※常時使うものは、更新後5年間保存、その後に廃棄</li> </ul>
1年程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>通知文、案内文など</li> </ul>

### ②活動継続の為に複数年の保存が望ましい書類

複数年保存	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議記録</li> <li>事業実施報告</li> </ul>
-------	--

### ③具体的帳票名

帳票名	保存年数	担当	保管場所
地区社協 総会資料	5年	総務	交流センター事務室・書棚
地区社協 一般資料	5年	総務	同上
地区社協 助成金資料	5年	総務	同上
緑園地区第3期福祉保健計画	5年	総務	同上
緑園地区第4期福祉保健計画	5年	総務	同上
地区社協 研修会資料(平成年間)	5年	総務	同上
地区社協 研修会資料(令和年間)	5年	総務	同上
介護予防事業関係	5年	総務	同上
地区社協 資料集	5年	総務	同上
表彰申請関係	5年	会長	同上
緑園居場所作り関係	5年	会長	同上
緑園福祉ふれあい祭り	3年	実行委員会	同上
キッズフェスティバル	3年	実行委員会	同上

## 地区社協の活動記録と文書の保存（2）

### ③ 具体的帳票名（続き）

帳 票 名	保存年数	担 当	保 管 場 所
地区社協 広報紙関係	3年	広 報	交流センター事務室・書棚
地区社協 決算報告書	5年	会 計	同 上
地区社協 出納簿	5年	会 計	同 上
緑園福祉ふれあい祭り決算報告	5年	会 計	同 上
緑園チャリティフェスティバル決算報告	5年	会 計	同 上
緑園キッズフェスティバル決算報告	5年	会 計	同 上
緑園さくらカフェ決算報告	5年	会 計	同 上
緑園地区社協 各種団体助成金控（1）	5年	会 計	同 上
緑園地区社協 各種団体助成金控（2）	5年	会 計	同 上
緑園地区社協 会計担当諸資料	5年	会 計	同 上
地区社協の手引き	5年	総 務	同 上
緑園10周年記念誌	永年	総 務	同 上
緑園20周年記念誌	永年	総 務	同 上
緑園30周年記念誌	永年	総 務	同 上
民生委員制度創設100周年記念誌	永年	総 務	同 上
第4期泉区地域福祉保健計画	永年	総 務	同 上
新橋地区社会福祉協議会30年史	永年	総 務	同 上
泉区社協 みんなでつくろう！福祉の泉 泉区社協 事業計画書及び収支予算書	5年	総 務	同 上
介護サービス事業者ガイドブック	複数年	総 務	同 上
ダスキンレントオールイベントカタログ	複数年	実行委員会	同 上
地区社協 30年史編纂資料	複数年	会 長	同 上
地区社協 役員・理事定例会議事録	複数年	会 長	会長保管・パソコン内
地区社協 定例会レジメ	複数年	会 長	同 上
地区社協 状況報告書	複数年	会 長	同 上
泉区社協 分科会情報交換資料	複数年	会 長	同 上
泉区アクションプラン	複数年	会 長	同 上

# 地区社協の会計科目

《科目の説明及び書き方の例》 ※地区社協の手引きより

下記の表に記載されている内容に沿って、予算書、決算書に記入します。

記入する説明は、地区社協活動の透明性を図るため出来るだけ細かく記入しましょう。

この事例はH29年度版です。

	科 目	説 明	説明書き方例
収 入	市社協補助金	市社協へ申請する地区社協活動費	地区社協活動運営費
	区社協補助金	ふれあい助成金、共同募金配分金、善意銀行配分金、年末たすけあい募金、その他区社協からの事業助成金	ふれあい助成金 ○○○○円 共同募金配分金 ○○○○円
	区社協会費還元金	区社協会費、世帯会費、賛助会費還元金	区社協賛助会費 ○○○○円×○%
	地区社協独自会費	地区社協独自の世帯会費、賛助会費（個人）、賛助会費（法人）	○○円×△△△世帯
	自治会・町内会からの助成金	地区連合からの助成金、自治会・町内会からの助成金	地区連合団体助成金
	その他の補助金・助成金	地区民協からの補助金	地区民協補助金
	収益金	バザー、チャリティ事業などの収入、イベント参加費	チャリティバザー売上
	寄付金	個人や団体からの寄付金	●●氏より寄付
	預金利子	預金利子	預金利子
	雑収入	不用はがき還元金、祝金など	福祉まつり祝金
	負担金収入	会食会、配食サービス等の利用（参加）者負担金	会食会参加費 @○○円×△△人 配食サービス利用者負担金 @○○円×△△人×◇◇回
	その他	積立金取り崩し収入・特別会計からの繰入金	●周年記念事業積立金取り崩し収入
	前年度繰越金	前年度からの事業準備金・前年度からの繰越金	前年度からの事業準備金 ○○○○円 前年度からの繰越金 ○○○○円
支 出	事業費	サロン、会食会、配食、障害児・者余暇支援、生活支援、福祉まつり等の事業にかかる経費（通信費、消耗品費、食材費、材料費、保険料など）	会食会 ○○○○円(食材△△円、消耗品△△円) 福祉まつり ○○○○円(会場費△△円、消耗品△△円、印刷△△円、保険料△△円)
	調査費	アンケート費用・調査費用	一人暮らし高齢者アンケート ○○○○円
	広報費	広報紙作成費用、チラシ作成費	地区社協だより印刷 ○○円×△△△部×◇◇回
	研修費	研修・学習会・講演会等にもなう費用（技術指導料・講師謝金等）、外部研修会参加費	講師謝金 ○○○○円 研修参加費 ○○○○円×△人
	助成金	サロン、各種団体等への助成金・社明運動助成金など	サロン助成金 ○○○○円×△△団体 老人クラブ助成金 ○○○○円
	事務費	事業に関わらない経費（通信費、消耗品費、事務所経費など）	事務消耗品 ○○○円 電話代 ○○○円 事務所借り上げ料 ○○○○円×△△か月
	会議費	理事会、総会、役員会、監査会など会議にかかる経費（通信費、消耗品費、会場借り上げ料、茶菓代等）	総会会場費 ○○○円 郵券代 ○○○円 会議お茶代 ○○円×△△人×◇◇回
	渉外費	慶弔費（祝金、香典）、渉外費（他団体の行事参加費など）	お香典 ○○○○円 ●●クラブ文化祭祝金 ○○○○円
	備品費	設備・機材の購入費用	プリンター購入 ○○○○円 CDデッキ購入 ○○○○円
	会費	区社協会費など	区社協会費 ○○○○円
	積立金	積立金は原則5年以内とし、積立年数と目的を明確にしましょう	目的：PC購入のため(○年目)
	雑費	少額でどの科目にも該当しない経費	
	予備費	あらかじめ予想できなかった必要経費支出のための費用	
その他	特別会計への繰出金など	災害支援特別会計への繰出金	
次年度繰越金	次年度への繰越金		

# 地区社協の予算

地区社協の予算は「科目の説明、書き方例」を参考に事業計画をもとに総務担当が作成します。  
説明欄は、地区社協活動の透明性を図るため出来るだけ細かく内容と金額を記載します。

(例) 令和3年度 緑園地区社会福祉協議会 予算書(案)

表中 \*印は数値を略す

(単位 円)

科 目	前年度予算額	今年度予算額	増減	説 明	
収 入	市社協補助金	**000	**000	0	事業補助金(地区社協活動運営費)
	区社協補助金	***000	***000	0	事業補助金(地区社協育成費)
	自治会・町内会の補助金	***000	***000	0	緑園連合自治会
	区社協組織強化費	**000	**000	0	機能強化費(3万円)、組織活性化(2万円)
	さくらカフェ緑園	**000	**000	0	地区社協育成費(集いの場)
	ふれあい祭り援助金	**000	**000	0	泉ふれあい助成金、福祉の泉助成金
	その他の補助金、助成金	**000	**000	0	RCA(ふれあい祭り)
	キッズフェスティバル	**000	**000	0	なえば保育園より助成金
	区社協還元金	***000	***000	0	賛助会費の1/2還元、チケット還元
	収益事業	***000	***000	0	ふれあいフェスティバル売上金
	収益金	**000	**000	0	お汁粉売上金等(新橋ケアプラザ)
	負担金収入	**000	**000	0	総会懇親会会費、茶話会他
	雑収入金	**000	**000	0	ふれあい祭り、その他
	寄付金	*000	*000	0	ふれあい祭り等
	収益事業	***000	***000	0	さくらカフェ緑園(売上金14千円×10回)
	預金利息	0	0	0	
	前年度繰越金	*****	*****	0	
合 計 額	1,738,204	1,738,204	0		
支 出	事業費	**000	**000	0	高齢者事業費(室内ゲーム大会)
		***000	***000	0	*1.地域交流事業費
		**000	**000	0	地域交流(第4期福祉保健計画活動費)
		***000	***000	0	児童事業費(キッズフェスティバル含む)
		***000	***000	0	ボランティア活動費(茶話会等)
		**000	**000	0	その他(各施設訪問出演のお礼)
		***000	***000	0	さくらカフェ緑園経費(13千円×10回)
	調査・広告・研究費	**000	**000	0	社協だより他
		**000	**000	0	研修会費用
	事務費	**000	**000	0	事務用品等
	消耗品費	**000	**000	0	パソコンインク等
	通信費	**000	**000	0	携帯電話、FAX、葉書、他
	交通費	**000	**000	0	役員交通費
	会議費	*000	*000	0	定例会
		**000	**000	0	総会費用
	渉外費	**000	**000	0	渉外費
		**000	**000	0	慶弔費
	備品費	**000	**000	0	ふれあい祭り機材
	助成金	***000	***000	0	各種団体9団体
	会費	**000	**000	0	参加2団体へ支払い
前払金	**000	**000	0	連合自治会へコピー代	
雑費	**000	**000	0	日赤、善意銀行(寄付金支払い)	
予備費	*****	*****	0		
次期繰越金	0	0	0		
合 計 額	1,738,204	1,738,204	0		

\*1.地域交流事業費：緑園チャリティフェスティバル中止、緑園福祉ふれあい祭り400千円

\*収支決算書も使った合計金額を記入し作成する。

# 支払伝票と支払証明書及び金銭出納簿

予算の執行に当たり、金銭の支出が発生した場合「支出伝票」に領収書を添付して会計に提出する。祝金、見舞金、香料、交通費等やむを得ない事由により領収書を求めることが出来ないものは、その支払いが正当であることを責任者が証明した「支払証明書」によって領収書に替えることが出来る。

## A) 支出伝票（兼受領書）

## B) 支払証明書

**支 出 伝 票(兼受領書)**

伝票番号 \_\_\_\_\_ 番  
緑園地区社会福祉協議会

金 額			
科 目	1. 事業費 2. 事務費 3. 広報費(調査、広告宣伝) 4. 会議費 5. 図書費 6. 渉外費 7. 交通費 8. 会費 9. 研修費 10. 備品費 11. 通信費 12. 寄付金 13. 助成金 14. その他 15. 活動事業費(ふれあいチャリティフェスティバル、福祉ふれあい祭り)		
備 考	裏面に領収書貼付		
支払方法	立替払・振替払・振込	立替払日	
請求元	所属	会長	氏名
受 領	受領日		受領者印
承認		会長	

※支払金額については会長の承認が必要です。

処理日	年	月	日
受付	会計		印
振込日	年	月	日

**支 払 証 明 書**

支払金額 ￥ \_\_\_\_\_

支払事由 \_\_\_\_\_

支払先 (住所) \_\_\_\_\_

(氏名又は代表者名) \_\_\_\_\_

支払年月日 平成 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

上記は正当に支払われたことを証明する。

地区社会福祉協議会  
会長 (印)

## C) 令和〇年度 緑園地区社会福祉協議会出納簿例



四半期に1回三役会に報告する。

会計担当 ○〇、〇〇

コード	社 協 主 枝 経 理 費 目	日 付	科 目	収 入	支 出	残 高 (円)		
						現 金	預金通帳	残高合計
23	2 事業費	4月 〇日						
24	0 負担金収入	4月 〇日						
15	0 銀行引き出し	4月 〇日						
16	0 (仮払金)	4月 〇日						
8	0 渉外費	4月〇〇日						
29	0 雑収入	4月〇〇日						
1	5 収益事業費	4月〇〇日						

# 連合自治会の補助金手続き

緑園連合自治会に補助金を申請するには、下記の手順に則り手続きを行う。

以下は平成30年度分申請の手順（例）

平成29年11月25日

緑園連合自治会会計担当

## 緑園連合自治会各種団体補助金の決算資料及び予算資料の提出について（事務連絡）

昨年度から各種団体の活動報告と活動計画の提出時期を変更しています。

今年度につきましても昨年度同様に、提出日を下記のとおりといたしますので、よろしくお取り計らいください。

### 1. 今年度（平成29年度）の活動報告書及び決算書

- ・提出時期 平成30年4月6日（金）
- ・提出場所 緑園地域交流センター事務室（提出専用BOXに入れてください）
- ・提出書類 平成29年度各種団体活動報告書・決算書一式
- ・その他注意事項
  - \*昨年度から、補助金支給基準を変更し、5万円以上の補助金を受けている団体については、決算書に会計帳簿の写しを添付することとなりましたのでご注意ください。
  - \*尚、行政等に決算報告書を提出している団体、及び構成員以外の法人で監査を受けている団体については、会計帳簿の添付を除外することとなっております。
  - \*年度終了前であっても実質的に今年度の活動を終了している団体は、早めに提出いただけると助かります。

### 2. 来年度（平成30年度）の活動計画書と予算書

- ・提出時期 緑園連合自治会2月定例会まで（締め切り厳守）
- ・提出場所 緑園地域交流センター事務室（提出専用BOXに入れてください）
- ・提出書類 平成30年度各種団体活動計画書・予算書一式

※ ご担当者様にはお手数をお掛けすることと思いますが、何卒ご協力の程よろしくお願い致します。

以上

# 緑園地区社協の会則

## 緑園地区社会福祉協議会会則

### 第1条 名称

本会の名称は、緑園地区社会福祉協議会とし、事務局を会長宅に置く。  
事務局専用携帯電話 090-3426-0294 とする。

### 第2条 目的

本会は、地区内の社会福祉事業関係者及び団体が協力して、自主的に地区内住民の福祉を増進することを目的とする。

### 第3条 事業

本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 社会福祉に関する調査、資料の収集、連絡調整及び広報伝達に関する事業
- (2) 児童、青少年の健全育成に関する事業
- (3) 母（父）子家庭、心身障がい児者及び高齢者の福祉増進に関する事業
- (4) 泉区社会福祉協議会に協力する事業
- (5) その他、地区住民の福祉向上に関する事業

### 第4条 構成

本会は、次の組織を持って構成する。

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 各自治会          | 10. 学校関係          |
| 2. 民生児童委員協議会     | 11. 福祉施設関係        |
| 3. 保健活動推進員       | 12. 北緑友会          |
| 4. 青少年指導員協議会     | 13. 南緑友会          |
| 5. スポーツ推進委員連絡協議会 | 14. 東花会           |
| 6. 交通安全緑園支部      | 15. その他福祉に係る団体と個人 |
| 7. 環境事業推進委員      |                   |
| 8. 活性化委員会        |                   |
| 9. スポーツ・文化クラブ    |                   |

### 第5条 理事、評議員

本会の理事、評議員は組織・団体の代表・個人があたる。

(1) 理事は15名程度とし、次の代表を持って構成する。

- |   |                  |               |
|---|------------------|---------------|
| 1. 連合自治会                                | 2. 民生児童委員協議会     | 3. 保健活動推進員    |
| 4. 青少年指導員協議会                            | 5. スポーツ推進委員連絡協議会 | 6. 交通安全協会     |
| 7. 環境事業推進員                              | 8. 活性化委員会        | 9. スポーツ・文化クラブ |
| 10. 学校関係                                | 11. 福祉施設関係       | 12. 高齢者団体     |
| 13. その他理事会が認めた個人                        |                  |               |
| 14. その他福祉に係る団体（子育てサロン、高齢者サロン、助け合いグループ等） |                  |               |

(2) 評議員は次の組織の代表者とする。

- |         |                      |
|---------|----------------------|
| 1. 自治会  | 2. 学校（保育園、小、中、高、大学等） |
| 3. 福祉施設 | 4. その他、福祉に係る団体       |

なお、福祉に係る団体より若干名の増員を募ることが出来る。

## 第6条 役員

本会は、次の役員を置く。

1. 会長1名
2. 副会長2名
3. 総務若干名
4. 会計2名
5. 監査2名
6. 企画調整若干名
7. 広報若干名
8. 自治会担当者若干名

## 第7条 役員を選任

1. 前条の役員は、理事役員会の推薦を受け、総会において承認を得る。
2. 監事は他の役員を兼務しない。
3. 役員任期は1年とし、再任は妨げない。
4. 任期途中の退任により補充された役員任期は、前任者の残余の期間とする。

## 第8条 職務

1. 会長は本会を代表し、会務を統括する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、会長の職務を代行する。
3. 理事、評議員は事業の執行に当たる。
4. 総務は、総括事務を担当する。
5. 会計は、会計事務を担当する。
6. 企画調整は、外部との渉外や事業企画の全体調整を担当する。
7. 広報は広報業務（活動内容の情報発信）を担当する。
8. 監査は、会計事務を監査する。
9. 自治会担当は、各自治会との連絡調整および活動支援を行う。

## 第9条 顧問、参与、協力員

本会は、顧問および参与及び協力員を置くことができる。

## 第10条 会議

本会の会議は、総会と理事役員会とする。

- (1) 総会は、会長が招集し、年1回開催する。
- (2) 理事役員会は、原則として、毎月1回開催するものとする。
- (3) 会長が必要と認めた時は、総会、理事役員会を臨時に開催することができる。

## 第11条 経費

本会の経費は、連合自治会補助金、泉区社会福祉協議会助成金、RCA補助金、賛助会費、その他の収入をもって充てる。

## 第12条 慶弔金

本会の慶弔金を次のように定める。

- (1) 関係団体代表者及び緑園地区社会福祉協議会の理事・役員・評議員のご逝去の場合、香典として5,000円を支出する。
- (2) 慶事については祝金として3,000円～5,000円を支出する。  
(慶事内容については三役会により決定する。)

## 第13条 会計年度

本会の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

## 第14条 この会則に定めるもののほか、必要事項は会長が理事会に諮り決する。

# 募金活動（共同募金・賛助会費）

## 1) 共同募金とは？

共同募金は、民間が行う寄付金募集として、毎年、厚生労働大臣の告示により実施する“たすけあい”の運動です。昭和22年に戦後復興の一助となることを目的として始まった共同募金は、現在では、皆さまがお住まいの地域の中で様々な福祉活動に役立てられています。皆さまの善意を適正に取り扱うために、募金の使いみちなどが「社会福祉法」で定められています。

## 2) 募金なのに目標額があるのは？

地域福祉を進めるために、活動資金をあらかじめ把握して計画的に募金を行うことが「社会福祉法」で定められているからです。募金は任意ですが、地域福祉を応援するためにご協力をお願いします。

## 3) 「共同募金」の募集方法と目標額

### ◆募集方法

①戸別募金・・・自治会・町内会のご協力により各世帯に募金を依頼します。

依頼額 … 1世帯当たり 315 円

(内訳) 広域計画募金 160 円、地域計画募金 135 円、年末助け合い募金 20 円

②その他・・・街頭募金・法人募金・職域募金・校内募金・その他の募金があります。

③義援金募集・・・被災者の方々への支援の一助として災害義援金を取り扱います。

### ◆目標額：1,474,515 円

緑園・・・4,681 世帯、広域 748,960 円 + 地域 631,935 円 + 年末 93,620 円

## 4) 賛助会費とは？

泉区社会福祉協議会が実施する事業に対して、ご賛同を頂いた住民の皆様に「賛助会員」として活動財源のご協力をお願いしています。

福祉のまちづくりを支えるサポーターとして、財政的支援をよろしくお願いします。

## 5) 「賛助会費」の募集方法と目標額

### ◆募集方法

自治会町内会を通じ地域住民の皆様にご協力をお願いします。地区社会福祉協議会が取りまとめを行い、集まった会費は区社協を通して区内の福祉活動に活用させていただきます。

### ◆目標額：自治会加入世帯の 7.5%、目安額（一口）1,000 円

目安を設定させていただいていますが、任意の額でご協力いただければ幸いです。

賛助会費の 1/2 は、当該地区社会福祉協議会の活動資金となります。



# 広 報 活 動

緑園地区社会福祉協議会 広報部

## 《ホームページとフェイスブック》

HP/FB 担当 江尻哲二

緑園地区社会福祉協議会のホームページ(HP)は、平成18年6月25日、地域交流センターで開催された「第2回緑園地域ふれあいフェスティバル」の掲載がスタートで、以来17年続いています。これも各種イベント・ちょっとした催しについての情報を事前にご連絡いただき、取材にお邪魔したり、取材に行けなくとも主催サイドからその実績内容をご連絡いただいた結果です。これらが、当緑園地区社協の歴史を表していると思っていますし、外部の方々が抱く緑園地区社協の評価に繋がっていると考えています。

フェイスブック(FB)は平成29年の件数はHP以上ですが、広く他地域での活動紹介も掲載しています。これからも、皆さまの素晴らしい活動を、ご遠慮なくお寄せください。



## 《地区社協だより緑園》

広報紙担当 松井広志・神野芳子

緑園地区社協の広報紙「地区社協だより緑園」は、平成18年10月に創刊号が発行されました。これは、緑園地区社会福祉協議会の活動を地域住民や関係諸機関・団体に分かりやすく伝えることを目的としています。発行は年4回(季刊)を基本とし現在は4~5回を定期的に情報発信しています。福祉へのご理解、ご関心を持っていただくとともに、参加して頂く「きっかけ」になればと思います。



# 表彰の記録（1）泉区社会福祉大会

日 付	回 数	受 賞 内 容	受 賞 者（個人・団体）
平成18年以前		該当無し	自治会対象
平成19年2月23日	第20回	ボランティア活動功労者	飯塚寿子、植松孝温
平成20年2月23日	第21回	福祉団体自主活動功労者	倉田 怜、牛見とも子
平成21年2月28日	第22回	福祉団体自主活動功労者	斎藤義晴、小島優子、緑園サロン
		金品寄贈功労者	斎藤義晴
平成22年3月1日	第23回	社会福祉功労者	山本焔子、江尻哲二、みつばち歌声会(希)
		福祉団体自主活動功労者	菅野英夫、池谷 清、後藤登美雄 星野周一(希)
		共同募金協力者	特別養護老人ホーム希望苑
平成23年3月1日	第24回	ボランティア活動功労者	山越みな子、高山一子(希)
平成24年3月1日	第25回	ボランティア活動功労者	東花会
		福祉団体自主活動功労者	皆川澄子、末永章人、神山敏晃(希)
		賛助会費協力自治会	7丁目自治会
		共同募金協力者	緑園都市相鉄ライフ商店会
平成25年3月1日	第26回	ボランティア活動功労者	須田晴美
		福祉団体自主活動功労者	臼井 修(希)
		賛助会費協力自治会	7丁目自治会
		金品寄贈功労者	匿名希望者1名
平成26年2月28日	第27回	ボランティア活動功労者	吉沢逸男、福田美智子(寺子屋)
		福祉団体自主活動功労者	助川恵子、大野恵美子
		賛助会費協力自治会	2丁目自治会、7丁目自治会
		共同募金高額寄付者	緑園都市ウイング
平成27年2月27日	第28回	各賞	受賞者なし
平成28年2月27日	第29回	福祉団体自主活動功労者	山口俊一、北村節子、古川英子、嶋本洋子
		金品寄贈功労者	斎藤義晴
平成29年2月24日	第30回	ボランティア活動功労者	谷井美佐子、二ノ宮哲夫(けいあいの郷) ピッコロひろば
		福祉団体自主活動功労者	山中一彦、木次順子、斎藤光子
		賛助会費協力自治会	7丁目自治会
平成30年2月23日	第31回	ボランティア活動功労者	萩の会(希)
		福祉団体自主活動功労者	佐藤卓司、四分一昭司 板橋久美子、川部美佐子
		賛助会費協力自治会	2丁目、4丁目西、7丁目各自治会
平成31年2月22日	第32回	ボランティア活動功労者	笹沼博之(けいあいの郷)
		福祉団体自主活動功労者	皆川澄子、江尻迪子(いずみ布)
		賛助会費協力自治会	2丁目、4丁目西、7丁目各自治会
令和2年2月28日	第33回	福祉団体自主活動功労者	大野恵美子、及川久美子
令和3年2月26日	第34回	福祉団体自主活動功労者	篠塚京子、小竹泰代、加藤京子
		賛助会費協力自治会	2丁目・4丁目西・7丁目各自治会
令和4年3月3日	第35回	福祉団体自主活動功労者	上野ひづる

## 表彰の記録（２）横浜市社会福祉大会

日 付	回 数	受 賞 内 容	受 賞 者（個人・団体）
平成22年11月16日	第30回	精神保健事業功労	牛見 豊
		ボランティア功労団体	緑園サロン
平成25年11月19日	第33回	ボランティア功労団体	傾聴ボランティア・モモ
		会長表彰永年会員	ひかりの園、花の生活環
		会長感謝	江尻哲二
平成29年10月30日	第37回	会長表彰永年会員	緑園地区社会福祉協議会
平成30年11月13日	第38回	会長表彰永年会員	特別養護老人ホーム希望苑
			特別養護老人ホーム新橋ホーム
令和元年10月29日	第39回	会長感謝	ピッコロひろば
令和2年	第40回	会長表彰永年勤続	有銘幸子、堀口澄枝、屋代恵子

## 表彰の記録（３）神奈川県社会福祉大会

日 付	回 数	受 賞 内 容	受 賞 者（個人・団体）
平成21年10月15日	第58回	会長表彰優良地区社協	緑園地区社会福祉協議会
		会長表彰功労者	金子宗市朗(希)、斎藤芳恵(希)
		会長感謝永年勤続	松本輝雄
平成26年10月16日	第63回	ボランティア功労団体	緑園サロン
		会長表彰永年勤続	岩切隆裕(希)
		会長感謝永年勤続	小宮和江(希)、白井 修(希)
平成27年10月15日	第64回	会長表彰功労者	江尻哲二
平成30年10月19日	第67回	会長表彰永年勤続	石原秀伸(希)、小岩井陵(希)、寺西大介(希)
		会長感謝永年勤続	飯田 守(希)
令和元年10月18日	第68回	会長表彰永年勤続	安東伸江(希)
		会長感謝永年勤続	斎藤芳恵(希)
令和2年		会長感謝永年功労	神山敏晃(希)



## 緑園地区福祉施設紹介 (2)

### 【 社会福祉法人秀峰会 花の生活館 】

≪ 横浜市初のショートステイセンター 花の生活館 ≫

#### ◆花の生活館

施設長 石田洋平

花の生活館は、横浜市で最初に認可を受けたショートステイセンターです。秀峰会ではこの経験と実績を活かし、ご利用者のため、ご家族のために安全で居心地の良い施設づくりを行っています。

- ・冠婚葬祭
- ・利用者の静養、気分転換
- ・ご家族の用事や旅行
- ・ご家族の介護負担軽減
- ・病院からの退院時に自宅での受け入れ準備が整っていない

など、一時自宅での介護が困難になる場合が生じますが、そのような時に利用できるのがショートステイです。

申し込みは、ケアマネージャーを通してか、要介護認定前であれば地域ケアプラザかケアマネージャーの事務所に相談していただきご利用の依頼をお願い致します。



【所在地】

〒245-0002

横浜市泉区新緑園4-6-1

電話：045-813-1111

FAX：045-813-3322

### 【 社会福祉法人ル・プリ ひかりの園 】

≪ 社会参加と自立支援 生活介護事業所 ≫

#### ◆ひかりの園

施設長 前川 涼

ひかりの園は、知的障害のある方の日中活動の場所として、平成5年5月に開設されました。

作業や余暇など様々な活動を通して、利用されている方の地域生活を支援しています。

主にパンや焼き菓子の製造、麦茶の加工と袋詰め、陶芸製品の作成や園芸作業、牛乳パックやアルミ缶の再利用、日常生活上の支援や体を動かす活動を行なっています。

利用者の皆さんは、それぞれの作業班に所属し、生産活動を通して社会参加と自立への支援を行なっています。

作業班の製品につきましては、ひかりの園カウンター及び緑園地域交流センターにて販売しています。是非、お立ち寄りください。



【所在地】

〒245-0002

横浜市泉区緑園4-6-1

電話：045-813-3916

FAX：045-813-3926

## 緑園地区福祉施設紹介 (3)

### 【 社会福祉法人公正会 特別養護老人ホーム希望苑 】

《 介護を受ける人、介護をする人、皆が笑顔であるように 》

#### ◆希望苑

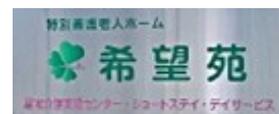
施設長 福島秀幸

社会福祉法人公正会 特別養護老人ホーム希望苑は、昭和63年8月1日に開所しました。

運営理念として『利用者個々人が尊厳を持って、その人らしく、自立した生活が送れるよう支えること』を基本に、開所以来34年間、緑園地区の皆様と共に歩んできました。

希望苑の事業内容は、特別養護老人ホーム（特養）94床、短期入所生活介護（ショートステイ）4床、地域密着型通所介護（デイサービス）定員15名、居宅介護支援事業（ケアマネージャー）を運営しています。

施設の屋上からは富士山を眺めることもでき、緑に囲まれた環境の良い場所でゆったりとした時間を過ごしていただけます。これからも地域に開けた施設を目指して、より安全で快適な暮らしづくりの為に地域の皆様と一緒に様々な取り組みをしていきます。



【所在地】

〒245-0001

横浜市泉区池の谷3901-1

電話：045-812-8181

FAX：045-813-0200

### 【 緑園地域交流センター 】

《 地域近隣住民が健全な文化・健康活動を行う場所 》

#### ◆緑園地域交流センター

管理運営委員会 菅野英夫

緑園地域交流センターは、平成5年5月に地域住民の強い要望、横浜市の協力、くるみ会の理解により開所しました。

当初はひかりの園により管理運営され、平成14年に緑園連合自治会主体の「管理運営委員会」に管理委託され今日に至っています。

目的は、地域近隣住民が健全な文化・健康活動を行う場所を提供し、良好な地域コミュニティーを形成することであり、多くの方々に利用頂いています。現在では新型コロナ感染防止策により利用が減少していますが、地域活動団体や一般利用者を含む年間延べ50,000人もの人達に利用・活用されています。



【所在地】

〒245-0002

横浜市泉区緑園4-6-1

電話：045-813-2620

FAX：045-813-2620

# 緑園地区の人口予測・年齢構成

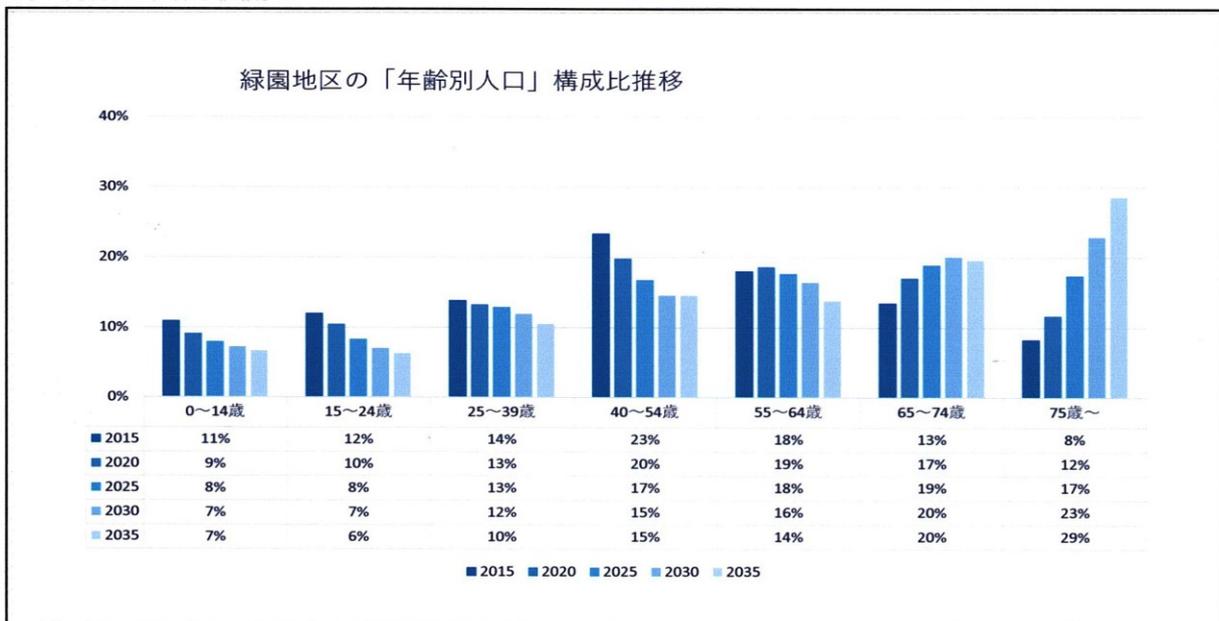
開発当初は59世帯の山村であった緑園地区は、昭和62年に岡津町内会から独立し緑園自治会が発足、当時は190世帯、人口600人であった。

現在は計画人口18,000人が令和3年度末には13,596人で、ここ10年では約1,000人の減少となっている。今後急速な高齢化が進む状況にあり、地域福祉活動の充実がますます必要となる。

## 1) 令和4年時人口状況



## 2) 将来の人口予測



資料：2022年3月現在横浜市統計ポータル及び2015年3月泉区役所「緑園地区の人口・年齢構成」による

# 編集後記

緑園地区は、昭和62年に緑園自治会と緑園都市コミュニティ協会が発足しスタートしました。

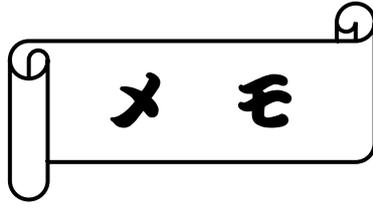
その後、平成3年に連合自治会（1丁目～7丁目）が発足、平成4年には、緑園地区社会福祉協議会が緑園地区民生委員児童委員協議会と同時に発足しました。

緑園地区社協では、発足30周年を迎えるに当たり、令和3年度に記念誌編纂委員会を編成し、令和4年度に発行することを目標に、緑園地区支援チームのご支援を得て編纂を進めてきました。発足から第1期福祉保健計画がスタートするまでの間の資料が乏しく、関係諸団体の記録等も参考にさせていただきましたが、年度別では不十分な点多々あります。本誌は、当地区社協の記録と今後の活動の糧とすべく纏めたものですが、他方、当地区社協に対する皆様方のご理解の一助ともなれば幸いです。

今後の緑園地区の益々の発展を祈念しますとともに、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

## 編纂委員会

委員長	緑園地区社協	会長	菅野 英夫
副委員長	同	副会長	小島 優子
副委員長	同	副会長	牛見 とも子
委員	同	事務局長	加藤 正実
委員	緑園地区シニア連	会長	後藤 登美雄
委員	緑園地区民児協	会長	堀口 澄枝
委員	緑園地区社協	会計	高浦 広康 ・ 上野 ひづる
委員	同	広報	江尻 哲二 ・ 松井 広志
委員	同	協力員	四分一 昭司
泉区支援チーム	泉区役所・福祉保健課		佐藤 修 ・ 大山 翔子
同	泉区社会福祉協議会		遠藤 久美
同	新橋地域ケアプラザ		竹内 直雄 ・ 森田 裕之



A series of horizontal dashed lines for handwriting practice, spanning the width of the page.

※ 油性ペンなどをお使いください。



## 緑園地区社協 30年のあゆみ

---

令和5年3月25日 初版発行

発行 緑園地区社会福祉協議会  
〒245-0002  
横浜市泉区緑園4-6-1  
緑園地域交流センター内  
電話：090-3426-0294

---